ハンドボール「第21号目次」



表紙写真は――
日独交歓試合から

## 私の言葉

# 指導者に恵まれない

## 北海道　諸兄の協力を待つ


小坂幸一
（北海道協会会長）


ことしの2月の評議員会には仕事のつごうで出席できなかつたが、重点施策として取り上げた第一、第三項はまことに当を得たものである。特に北海道としてはもろ手を上げて賛成。それを単なるかけ声に終らせず、ぜひとも実現するよう強力に推進してもらいたいと願うものである。私の立ち場上から主として北海道ハンドボール界について日ごろ考えていることを書かしていただく。

北海道が本州と比べて発展が遅れていることは周知の事実である。われわれ関係者としてもいつも歯がゆく思っているところである。北海道に普及された歴史の浅いことは別として、第一は中学校の体育指導要領から除外されているため（この点は昨年の評議員会で、席上、私も強く発言したことだが…）ハンドボールマンの底辺のせまいこと。次に優秀な指導者に恵まれないことが不振の原因でないかと思っている。中学では教えていないので高校から始める。伝統のある学校は強化につとめるから一応のレベルは達するが、競争相手が少ないため試合数に恵まれない。したがって技術の向上は望まれず、B級ぐらいの力に甘んじなければならない。また一般チームは高校出で組織するが、進学、就職のため土地から離れる人が多い。このためチーム編成には毎年苦労し、強化どころか維持するのが手いっぱいというのが現状である。

次に指導者だが、強い学校ほどすぐれた先生に指導されている。これは他の競技についても同じことだが、普及度の低いハンドボール界では特にこの感が深い。私どもの望むところは優秀な指導者を中央やハンドボールの盛んな地域に集中させず、普及の目的で北海道にどしどしつぎ込んでもらいたい。北海道のチーム数は高校男子10、高校女子8、一般男子1、一般女子2、大学2、教員2である。地域的には函館、室蘭で二分し、札幌地区には高校、大学という実状である。いかに全道的に普及されていないかを知ってもらえると思う。函館、室蘭は皆川、岩井、岡田、北川、松田諸先生方の努力に負うものだが、いかに指導者に左右されるかを如実に物語っている。本道ハンドボール界のため、ひとえに関係各位の深い理解と努力をお願いするしだい。私も昭和30年からハンドボールに関係し、今日に及んでいる。国体参加は監督、会長を兼ねること連続十年になる。私の主催するサンダークラブは26年から連続14回出場し、この間十年表彰選手を4人も出している。本年の岐阜国体の出場をいまから心おどらせ待っているところです。

◇◇　◇◇

# 北京、上海などで9試合

## 日本チーム、中国へ初遠征

## 団長高嶋洌氏以下17代表

日本ハンドボール協会は4月5日、中国遠征の日本男子チーム高嶋洌団長一行17人を発表した。一行は4月15日羽田からフランス航空機で出発。香港を経て中国にはいり、広州、上海、北京の三都市で9試合を行なった。帰国は5月8日の予定。

監督　岡村　昭二　　団長　高嶋

### 全立大の不参加で難航

#### 選手選考事情

3月上旬に日中文化交流協会の村岡事務局長から「中国側の受け入れ体制はできた。予定どおり4月15日羽田を出発してもらいたい」と正式に申し入れてきた。このため日本協会は選考委員会を開いて協議した結果、さきに日本協会が決めた昭和39年度の男子優秀選手15人をそのまま推薦することになり、関係者に通知した。この15人は福本弘、竹野奉昭、北村尚英、井上素行（以上大崎電気）尾形譲、安達精太、中根敏男、江名英彦、木野実（以上全立大）東嘉伸（日体大ク）森末和裕（関学）鳥井繁夫（同志社大）森田謙喜、池田鉄哉（以上芝浦工大）北井晴次（教大）。このうち北井、鳥井、森末、池田はつごうで参加できないむね連絡があった。全立大の5人は一応松下立大学長名で参加を承諾してきたが、日本協会が遠征準備にはいった直後に突然〃不参加〃を申し入れてきた。「15人のうち9人の不参加では遠征はいちじ延期するより仕方なし」と高嶋理事長は腹を決め、日中文化交流協会の村岡事務局長に報告、延期かたを申し入れた。ところが村岡事務局長は「すでに中国側では準備を完了したので延期はできない」と強硬な態度。国際信義上これはできない。

#### 渡辺社長（大崎電気）が協力

そこで高嶋理事長は大崎電気の渡辺社長に選手派遣の増員かたについて交渉を開始し、宮原藤文男、田口侑義、金田純男、市原則之、西村功の5選手の参加となったもの。この交渉過程において渡辺社長は「日本協会が勝手に選手を選考しておきながら、不参加続出となってから私の会社に増員してくれと言ってきても非常に迷惑であ

FP　竹野　奉昭

GK　島崎　政治

GK　福本　弘

マネジャー　河東田義郎

コーチ　藤田　信義

FP 井上 素行　FP 北村 尚英　FP 田口 侑義　FP 宮原藤支男　FP 東 嘉伸

## 日本選手団

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|
| 団長 | 高嶋 冽 | 日本協会理事長・芝浦工大教授 |
| 監督 | 岡村 昭二 | 日本協会常務理事・都立玉川高校教諭 |
| コーチ | 藤田 信義 | 山口県協会理事長・山口大学講師 |
| マネジャー | 河東田義郎 | 河北新報記者・福島大出身 |
| G K | 福本 弘 | 大崎電気工業・芝浦工大出身 |
| | 島崎 政治 | 大阪府桜塚高校教諭・日体大出身 |
| F P | 竹野 奉昭 | 大崎電気工業・日体大出身 |
| | 東 嘉伸 | 大阪府三国丘高校教諭　日体大出身 |
| | 宮原藤支男 | 大崎電気工業・芝浦工大出身 |
| | 田口 侑義 | 大崎電気工業・芝浦工大出身 |
| | 北村 尚英 | 大崎電気工業・芝浦工大出身 |
| | 井上 素行 | 大崎電気工業・新居浜工高出身 |
| | 金田 純男 | 大崎電気工業・中京商高出身 |
| | 市原 則之 | 大崎電気工業・広島商大出身 |
| | 西村 功 | 大崎電気工業・法大出身 |
| | 青木 義男 | 大阪府佐野工高教諭・日体大出身 |
| | 森田 謙喜 | 中央電気工業・芝浦工大出身 |

る。協会の首脳部は全く無責任だ。私は日本協会には協力したくない。だが高嶋理事長のハンドボールに捧げる情熱にたいして、私は敬服している。だから高嶋個人の切なる願いなので協力することにした」とはっきりした態度を示した。渡辺社長の好意で5人の増員となった。高嶋理事長はさらに宗形製作所（大阪）の越智、節生、久保勤、日体大ＯＢの島崎政治、青木義男、千代田印刷機の青木孝の5人にたいしても個別的に交渉し、島崎、青木両君の参加が決まった。宗形製作、千代田印刷機はいずれも4月1日から新しい職場となるため、『今回は見送ってほしい』ということになったもの。

役員についてはマネジャーとして河東田義郎君（河北新報記者、福島大ＯＢ）を推薦、河北新報社の承諾があった。この結果、選手団は役員4、選手13人と正式に決定した。選手団は4月1日から10日まで東京駒沢・室内球技場で強化合宿にはいった。（T・O）

## 日程

| 試合 | 日付 | 場所 | 結果 |
|---|---|---|---|
| 第1戦 | 4月18日 | 広州 | 広州 29－19 日本 |
| 第2戦 | 20日 | 広州 | 日本 30－20 安徽省 |
| 第3戦 | 21日 | 広州 | 広州 26－14 日本 |
| 第4戦 | 24日 | 上海 | |
| 第5戦 | 25日 | 上海 | |
| 第6戦 | 27日 | 上海 | |
| 第7戦 | 5月2日 | 北京 | |
| 第8戦 | 3日 | 北京 | |
| 第9戦 | 5日 | 北京 | |

FP 森田 謙喜　FP 青木 義男　FP 西村 功　FP 市原 則之　FP 金田 純男

# 女子世界選手権参加を承認

## —中学体育指導要領復活へ—

### 全国評議員会報告

昭和39年度日本協会全国評議員会は2月27日午後2時から東京・代々木の岸記念体育館会議室で開かれた。

「出席者」渡辺（東京）藤間（埼玉）保坂（神奈川）近藤（新潟）鈴木（長野）馬場（大阪）村山（岡山）＝以上7人

「代理出席者」

橋森（宮城）熊田（福島）浮谷（千葉）今村（静岡）名和（岐阜）島田（富山）森田（奈良）＝以上10人

「委任状」

北海道、秋田、岩手、茨城、愛知、三重、滋賀、京都、兵庫、香川、島根、宮崎、取鳥＝以上13人。

評議員数47人のうち、有効数30人。評議員会は成立し、式場会長病気欠席のため馬場副会長が議長となって開会した。

#### 報告事項

**一、国際関係について**

高嶋理事長　38年度の日程だが、昨年3月に第5回男子7人制世界選手権大会で日本は前回7位のノルウェーを破った。また8月に日本高校チームの韓国遠征が予定されていたが、政情不安のため中止となった。

**二、国内関係について**

名和（岐阜）ことしの岐阜国体は、いま全力をあげて準備している。運営、審判についても自信を持っている。現在岐阜県は選手強化に重点を置いてやっている。いま心配しているのは会期中の降雨である。体育館がせまく、不便だと思う。

疋田（大分）大分国体は最初中津市で開くことになっていたが、昨年8月に大分市に変更となった。ことし1月に高嶋理事長が来県、すべての面で指導してもらった。ことし8月に全日本総合選手権大会があり。準備を進めている。

**三、各部からの報告、質疑応答**

（イ）桃山学院大の関西学連復帰について高嶋理事長、技術部は松本常務理事、審判部は若崎常務理事、総務部は的場常務理事から報告。

#### 全日本室内を重要視

（ロ）質疑応答

渡辺（東京）A級公認審判員はあまり公式試合に出ていない。全日本選手権クラスの大会で、年間何試合を義務づけることが望ましい。そうでなければ降等させる方法を取ったらどうか。

若崎審判部長　もう少し時期を待ってほしい。評議員会の意に沿うよう努力する。

渡辺(東京)　46都道府県が加盟したときの利点はなにか。

高島理事長　国体の場合、都道府県対抗となる可能性がある。しかし46チームとなると、ダブルヘッダーをやらねば5日間で消化するのは無理と思う。

渡辺(東京)　さきほど的場常務理事は、いちばん大きな大会は全日本総合室内選手権大会であると報告した。ハンドボールには夏の全日本総合、冬の全日本総合室内の二つの全日本大会がある。どちらにウェートを置いているのか。

的場常務理事　協会内では室内を大きく見るべきとの意見が多い。

高嶋理事長　室内の方がいろいろな角度から見て大きい。報告が遅れたが、4月からハンドボールシューズを公認したい。メーカーは岡山の釣鐘工業である

#### 新役員

◎印は新

会長　式場隆三郎

副会長　出口林次郎　馬場　太郎　◎小杉　仁造　◎鈴木　達雄

理事長　高嶋　洌

常務理事　的場　益雄　山岡　二郎　◎青木　近衛　吉田正次郎　徳永　陸繁　若崎　重富　松本　重雄　◎岡村　昭二　◎宮崎顕一郎　◎加藤　裕策　◎境井　秀三　◎入江　暢一　◎栗脇　巍　◎浜田猪三郎　◎山田　計

顧問　高橋竜太郎　川崎　秀二　米本　卯吉　浅野　均一

参与　中山　正善　河島武四郎　◎塩沢　幹　大谷　武一　◎内藤誉三郎　栗本　義彦　松本　良三　保坂　周助　森　松雄　浜田　義明　池上　金治　岩野　次郎　外山　准二　常松　喬

企業のしっかりしたメーカーである。またハンドボールマガジン（協会機関誌）を40年度から月刊にする。

馬場副会長　私は1月に所用のため沖縄に行き、体育関係者と会った。席上、私は協会設立を促進してきた。日本協会から指導員、チームを派遣したいと考えている。3月31日から1週間、指導員、チームを受け入れたいと連絡があった。

高嶋理事長　式場会長は昨年12月胃カイヨウのため順天堂病院で手術した。経過はよく、3月下旬退院する。

## 馬場副会長でもむ

### 役員改選について

監事は山田稔氏（大阪）の再任。他の一人は東京地区から選出することになり、数原洋二氏（三菱鉛筆社長）を選出。理事は会長推薦22人、9ブロック代表9人、このほか学連、高体連、実業団から選出する。副会長はまず出口林次郎氏の再任を決めた。馬場太郎氏の再任については関西学連のトラブル、桃山学院大の除名問題（当時監督）、大阪協会長として事態収拾を怠ったのと理由、下部組織の高体連副部長であることから難色を示したが、実業団から二人の副会長を出すことで話し合いがつき、副会長を4人制とした。なお馬場氏の副会長再任は高体連副部長を辞任してもらうという条件づきで決まった。

会長は満場一致で式場隆三郎氏の再任を決めた。

## ハンドボール少年団育成を

### 協議事項

一、39年度の決算報告　山田監事から報告。

二、40年度施策

（イ）　中学校の体育指導要領の復活促進は最近文部省はじめその他関係者の間に「いまの体育指導要領で果たしていいのだろうか」という疑問が出ている。このため文部省は現在の体育指導要領の改正を考えており、改正するとも言っている。いまの指導要領からハンドボールが落ちているのが不思議だ。小学校のポートボール、中学校のドッジボールを経てハンドボールに発展して行くのが理想である。協会としてはこの復活促進に全力を尽くす。

（ロ）　未加盟県は2月1日現在で徳島・佐賀両県と沖縄である。この三県については40年度中に協会を結成させたい。

（ハ）　ハンドボール少年団はここ数年間、評議員会の承認を経ていたにもかかわらず、現在は開店休業といった形である。全く申しわけない。スポーツ少年団と歩調を合わせてハンドボール少年団を結成したい。それには準備委員会をつくって促進していく。ゴールポストの組み立てをはじめ、いろいろなことをやって生活訓練の手段としていきたい。こどもたちにハンドボールの夢を持たせ、認識させたい。とりあえずスポーツ少年団の中にハンドボールを普及させ、将来はスポーツ少年団をしのぐ少年団にしたい。

（ニ）　沖縄にたいする普及のため、男女チームを派遣したい。これは沖縄体協関係者からの申し入れである。ただし予算がないので自費遠征となろう。（琉球大学には55m—33mのコートがある）

## 分担金をアップせよ

三、40年度予算について

予算編成の骨子の説明があった。このあと緊急動議として渡辺評議員（東京）から「各支部の分担金一万円を、最高五万円から最低三万円にアップせよ」と提案があった。

渡辺（東京）これは協会の財源確保のためである。これを数年積み重ねていくことによって協会が独力で国際試合ができる。これが無理ならABCのランク制もある

森田（奈良県理事長）これには

| | |
|---|---|
| | ◎阿部　二郎 |
| | ◎植松　肇 |
| **事務局組織** | |
| 総務部長 | 岡村　昭二 |
| 財務部長 | 加藤　裕策 |
| 審判部長 | 若崎　重富 |
| 技術部長 | 松本　重雄 |
| 普及部長 | 的場　益雄 |
| 渉外部長 | 境井　秀三 |
| **専門委員会** | |
| 規則研究 | 若崎　重富 |
| 審判審査 | 徳永　陸繁 |
| 普及 | 的場　益雄 |
| 技術 | 松本　重雄 |
| 懲罰 | 吉田正次郎 |
| 少年団 | 青木　近衛 |
| 規約改正 | 加藤　裕策 |
| 登録制度 | 宮崎顕一郎 |
| 用具 | 浜田猪三郎 |
| 機関誌編集 | 藤本　強 |

**体協への代表役員**

| | |
|---|---|
| 評議員 | 山岡　二郎 |
| JOC委員 | 青木　近衛 |
| 競技力向上委員 | 的場　益雄 |
| 国体委員 | 若崎　重富 |
| 天皇杯委員 | 松本　重雄 |

# 高嶋理事長、体協理事に

日本体育協会は3月29日東京・代々木の岸記念体育会館で任期満了に伴う評議員会（53人）を開き、会長、新理事の選出を行なった。その結果、会長には石井光次郎氏が三選、新理事には日本ハンドボール協会高嶋冽理事長ら29人を選んだ。高嶋氏の理事当選（得票33）は初めて。また日本ハンドボール協会の理事が体協理事に選出されたのも初めて。

また高嶋氏は前期に引き続き国体委員にも選ばれた。日本ハンドボール協会の新JOC（日本オリンピック委員会）委員は高嶋氏に代わって青木近衛氏と決まった。青木氏は日独青少年交歓などに功績がある。

反対である。各県の実情にそぐわない。

島田（富山県副会長）財源確保として公認審判員の審査料を毎年徴収する方法もある。

村山（岡山）ボールの公認球ですでに還元されていると思う。

近藤（新潟）予算表を見ると国内大会だけのものである。国際試合のためには各都道府県が協力しなければならない。この分担金は会長のポケットマネーで処理するところもあるし、そうでない県もある。ABCのランク制がいい。執行部はどう考えているか。

島田（富山）ABCのランク制に反対。

高嶋理事長　39年3月の男子7人制世界選手権大会には大崎電気の渡辺社長にずいぶんご迷惑をかけた。40年度の国際交流には２５００万円が必要である。11月西ドイツで開かれる女子世界選手権大会だけでも１２００万円かかる。協会が独力で遠征するためにはどうしても１０００万円ぐらいの預金がほしい。このくらいあれば運営は円滑である。

村山（岡山）日本協会で研究してほしい。

島田（富山）誕生まもない県もある。チームに負担がかかる県もある。あらゆる面を考えて無理と思う。

渡辺（東京）秋の臨時評議員会までに決めたいと思っている。各県で早急に検討してほしい。39年度の各都道府県の分担金41万円、それに剰余金の２００万円は使わずにすぐ預金すべきだ。

高嶋理事長　41万円をタナ上げされては運営、執行できない。

渡辺（東京）それならば39年度の繰り越し金を凍結すべきである。３月31日現在で決算して41万円を預金せよ。

加藤理事　41万円以上の場合は預金するよう付帯決議をしてもらえばいい。

高嶋理事長　不確定要素はあるが、41万円を凍結して評議員会の承認がなければ使えないようにしてほしい。

予算案は満場一致で可決。

## 規約全面的改正

### 四、規約改正について

的場常務理事が改正案の説明にはいろうとしたとき、

渡辺（東京）日本協会の規約は実に不完全である。全面改正の必要がある。特別委員会をつくって秋の臨時評議員会までに成案を出してほしい。

高嶋理事長　ご趣旨に沿って秋の評議員会までに成案を提出する。

渡辺（東京）この改正案のち、理事の選出は大学、高体連の割り当て数が出ているが、これは内規にすべきである。

保坂（神奈川）９ブロックだけでは数が少ないと思う。

高嶋理事長　９ブロックのほかに会長推薦、実際に仕事をやる人として在京者を入れる。大学、実業団、高体連選出、会長推薦の理事は決まるが、９ブロック選出理事は各ブロックへ帰ってから決めてほしい。また新理事は決まったとしても、評議員会で選出したことにならない。きょう選出された理事は承認し、ブロック選出理事は書面で評議員会に報告する。この方法で承認してほしい。

渡辺（東京）３月15日までに報告してほしい。

### 五、40年度日程について

日程は別表のように承認。９月来日を予定されていた西ドイツチームは時期、経費の面で見送りとなった。

## 女子はフリー（夏の全日本）

### 六、予選制度について

宮崎常務理事から「秋の評議員会で日本協会の規約が改正されるので、夏の全日本総合選手権大会の予選制度改正案は承認してほしい」と改正案の提案理由の説明があった。

これによると出場チームは男女とも32チーム以下とし、５日間でトーナメント方式。男子は前年度

### 昭和40年度の大会日程

〔国内〕

第８回　日本学生選手権大会
　７月７日～７月11日　東京都
第16回　全国高等学校選手権大会
　８月１日～８月７日　熊本市
第８回　全日本教職員選手権大会
　８月中旬　場所未定
第17回　全日本総合選手権大会
　８月22日～８月26日　大分市
第15回　学生東西対抗
　９月５日　名古屋市
第20回　国民体育大会
　10月24日～10月29日　高山市
第18回　学生王座決定戦
　11月28日　東京都
第12回全日本総合室内選手権大会
　12月14日～12月19日　東京都
第６回　全日本実業団選手權大会
　41年２月３日２月６日　大阪市、名古屋市、柏崎市が立候補

〔国際〕

日中相互交流による対抗
　４月中旬（約３週間）男子　派遣
日ソ相互交流による対抗
　６月～７月（約3週間）男子 女子　派遣
高校チーム韓国遠征
　８月20日～（約2週間）男子 女子　派遣
第３回　女子7人制世界選手権大会
11月　西独　女子　派遣

優秀チーム（協会推薦）5、ブロック代表9と関東、東海、近畿を各1チーク追加して12、実業団代表4、学生代表9、地元関係県2の計32チーム。女子は当分の間、フリー参加。もし32チームを越える場合は、理事会を開いて32チームとする。

**七、登録に関する細則について**

宮崎常務理事から改正案について提案理由の説明があった。

これによると主なものは「第4条（個人の登録）一般男女の個人登録は所在地、勤務地、学生の区別がなく、1人が何チームにも登録することができる」。「第5条（チーム登録の期限）チームの登録は原則として毎年5月末日とし、それ以後の登録は認めない。ただし新設チームはこのかぎりでない」。

このうち新設チームとは昨年度登録されていないチーム名で、かつ本年度における登録メンバーは、他のチームにすでに登録されているものが3人以内であることを条件とする（3人まではいい）。

個人登録金は40年度1人200円

| | 基本金 | 機関誌 | オリンピック基金 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 高校 | 600円 | 1200円 | 100円 | | 1900円 |
| 大学 | 1000円 | 1200円 | 100円 | | 2300円 |
| 一般 | 1000円 | 1200円 | 100円 | *人員×200円 | 2300＋人員×200円 |

* 追加登録　人員×500円

☆　☆　☆
☆　☆　☆

## 日本ハンドボール協会　昭和40年度一般会計　機関誌会計収支予算

予算総則

第1条　昭和40年度一般会計収支予算の収入支出を別表(1)及び(2)のそれぞれ予算書のとおり定める。

第2条　日本ハンドボール協会の県加盟に必要な金などは加盟金年額10,000円とし、機関誌講読料6,000円とする。

ただし新らたに加盟した県協会は加盟年度およびその翌年度の加盟金を免除することができる。

第3条　日本ハンドボール協会のチーム登録に必要な登録金などは次のとおりとする。

第4条　日本ハンドボール協会の公認料は基本料として公認業者ごとに年額30,000円とし、公認物品一点につき50円を追加するものとする。

第5条　日本ハンドボール協会のルールブックは実費配布とする。

第6条　日本ハンドボール協会の審判員審査料は、D級については1000円、D級以外については500円とする。

第7条　日本ハンドボール協会の機関誌講読料は一部150円とする。

ただし年間購読契約料は年間（12回発行予定）1200円とする。

第8条　本予算はこの予算の各項に定めた目的以外にこれを使用することができない。

ただし予算の執行上やむを得ない場合に限り、評議員会の議決を経て各項間において流用することができる。

第9条　オリンピック基金はオリンピック大会参加の目的に使用するため積み立て金とする。

### 日本ハンドボール協会　昭和40年度一般会計収支予算書

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 前年度繰越金 | 261,906 | | |
| （オリンピック基金 | (261,906) | | |
| （収入） | | （支出） | |
| 加盟金 | 410,000 | 会議費 | 255,000 |
| 登録金 | 1,300,000 | 渉外費 | 368,000 |
| 公認料 | 800,000 | 旅費 | 150,000 |
| 振興金 | 300,000 | 通信費 | 316,000 |
| ルールブック頒分料 | 228,000 | 分担金 | 104,000 |
| 審査料 | 50,000 | 印刷費 | 350,000 |
| オリンピック基金 | 100,000 | 大会講習会費 | 76,000 |
| | | 事務局費 | 120,000 |
| | | 消耗品費 | 60,000 |
| | | 備品費 | 40‘000 |
| | | 人件費 | 669,000 |
| | | 賃貸料 | 480,000 |
| | | 予備費 | 100,000 |
| | | 翌年度繰越金（オリンピック基金） | 361,906 |
| 計 | 3,449,906 | 計 | 3,449,906 |

### 日本ハンドボール協会　機関誌会計収支予算書

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 前年度繰越金 | 0 | 印刷費 | 1,440,000 |
| 購読料 | 1,300,000 | 発送費 | 200,000 |
| 広告料 | 1,100,000 | 編集費 | 760,000 |
| | | 翌年度繰越金 | 0 |
| 計 | 2,400,000 | 計 | 2,40,000 |

# ルーマニア、ユーゴに敗れる

## ◆国際試合から拾う◆

### 西ドイツ週間誌から

先号ではまず海外の事情の第1回としてハンドボールの生みの国である西ドイツを紹介した。西ドイツは11人制選手権ではつねに優勝し、競技人口、競技チームの面でも世界一を誇っている。今回はヨーロッパの国際試合の実情について、特に今季の話題となっている試合を取りあげよう。十二月にはいり各地で国際試合が行なわれた。かなりの番狂わせがあり、これがニュースとなっている。本号ではこうしたヨーロッパの国際試合を見ていくことにしよう。

まず大きなニュースは昨年3月の男子7人制世界選手権で優勝したルーマニアがユーゴに敗れたことである。しかも完敗したということである。ルーマニア・ナショナル・チームは12月1日、ノウィサド（ユーゴ）でユーゴ・ナショナル・チームと対戦した。ノウィサドに集まった三千の観衆は世界選手権優勝チームに対し、ユーゴがどのような試合をやるか大きな期待をかけた。

**ルーマニア主力が欠場**

▽12月1日（ユーゴ・ノウィサド）

ユーゴ 17（7−5 10−6）11 ルーマニア

▽レフェリー　エドワード・パルドブスキー（チェコ）

ルーマニアは世界選手権で優勝したときのメンバーから4人欠場していた。チーム力の低下はおおうべきもなかった。3人はヨーロッパ選手権出場をかけたデュクラ・プラハ・チームとの試合に出かけ、1人はドイツの試合に出場していた。それほどチーム力が低下したとは考えられなかったが、チームワークの点ではいささか劣っていたことは否めない。

| | 【ルーマニア】 | 得 | 【ユーゴ】 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | レドル | 0 | バンジャミン | 0 |
| | ターレ | 0 | ジャンドロコウィ | 0 |
| FP | フナト | 4 | ステワノビック | 7 |
| | ゴス | 3 | カラツァ | 3 |
| | モーゼル | 1 | イツァコビック | 3 |
| | イワネスク | 1 | デュラネック | 2 |
| | オテレア | 1 | セレク | 2 |
| | ポペスク | 1 | ボルバット | 0 |
| | ナデア | 0 | ファジュフリク | 0 |
| | サムンギ | 0 | アクン | 0 |
| | ゴラン | 0 | ウィカン | 0 |
| | | 11 | | 17 |

モーゼル（ルーマニア）がジャンプシュートしようとしたが、フェイントパスにはいる瞬間。

この点がユーゴにつけ入るスキを与えることになった。ルーマニアは当然のことながら観衆から非常な歓迎を受けた。両チームは最初から力と力とでぶつかった。会場を溢れんばかりに埋めた観衆は、両チームの激突に手に汗を握って熱心に観戦、試合は非常にレベルの高いもので迫力があった。ユーゴは世界選手権で活躍したモーゼル、ナデアなどをマークした。この作戦が成功したのがユーゴの勝因のひとつになった。

開始のホイッスル。まずルーマニアが得点した。ユーゴもすぐ1点を入れ、さらに得点してユーゴが2−1とリードした。ルーマニアも連続得点をし、再びリードを奪った。このシーソーゲームに観衆は熱狂し、両チームの得点、ファインプレーのたびに大歓声。この観衆の声援に励まされてユーゴは連続3点を奪った。この間ルーマニア攻撃陣は無駄な攻撃を繰り返し、いたずらにユーゴの得点の因を作っていた。試合は早いペースで進められた。ルーマニアも世界選手権優勝チームの名にかけて猛反撃し、四たび同点とした。だがこれが最後であった。その後ユーゴの名キーパーバンジャミンの活躍があり、その間にユーゴは得点を重ねて7−5とリード、ハーフタイムとなった。「後半になればきっとルーマニアが反撃して、いいゲームになるだろう」と大観衆は期待していた。ところがどうだろう。後半になるとユーゴが鋭くアタックし、ルーマニアは手のほどこしようがなかった。会場を埋めた観衆はユーゴのこの攻撃に大喜び。会場の外は寒い。だが体育館の中はユーゴの猛攻に次ぐ猛攻で沸きかえり、熱気でいっぱい。ユーゴは連続3点をあげ、スコアは10−5。ルーマニアベンチはすっかり沈んでしまった。

試合の主導権は完全にユーゴが握った。ステワノビックとカラツァは後半12分間に5点を入れた。ルーマニアも2点を入れたが、試合はユーゴのペース。攻撃はポストプレー、サイドからの攻撃、切り込みなど多彩なプレーが行なわれ、すべてユーゴの思いどおりに進んだ。守ってもモーゼル、イワネスクのマーク策が成功した。ユーゴの5−1ディフェンスはルーマニアの大砲・重爆打線を完全に封じてしまった。

**GKの美技**

守備陣形−守備陣の活躍もさることながら、GKバンジャミンの活躍は忘れることができない。しばしばルーマニアの強シュートを防いだだけでなく、7メートルスローを2本もとめたことだ。勝利の第一人者と言っても過言ではな

フェイントをかけてバックスを抜き、そしてシュート。

い。

このようにユーゴの攻防にわたる大活躍でルーマニアは手が出ない。12—7のあと、ユーゴは連続3点をあげて15—7。時間はあと12分。ルーマニアは完全に勝利から見放された。ルーマニアはシュートをいくら打っても、ユーゴGKのファインプレーにはばまれて得点にならない。逆にユーゴの得点は増えるばかり。ルーマニアは奮起して2点を返して15—9。ユーゴも2点を追加して17—9。

三千の観衆はもう自国チームの勝利を疑わなかった。ルーマニアは最後の力をふりしぼって2点を返したが、ときすでにおそく、試合終了のホイッスル。

ユーゴは互いに抱き合って、勝利を喜んだ。世界選手権優勝チームに勝ったのだ。世界一のチームに勝ったのだ。それを寂しく見守るルーマニアチーム。

ユーゴの勝因は攻防にバランスがとれていたこと、ルーマニアの大砲を封じたことにある。なかでもGKバンジャミンのファインプレーと一人で7点をあげたステワノビックのロングシュート、カラツアの好リードは目だった。

この試合で、ユーゴとルーマニアは8回顔を合わせ、4勝4敗である。ここ二回はルーマニアの黄金時代であり、かなりの差でルーマニアが勝っていたが、ユーゴはここでまた勝利を握った。全試合の得点合計はユーゴ110点、ルーマニア98点。

## 日本チームを招待か

**イスラエル**4月24日から東京で開かれたアジア・ユース・サッカー大会に出場するため来日したイスラエル・サッカーチームのオット・フリード監督は4月21日、東京のフェア・モント・ホテルで次のように語っていた。「私はサッカーが好きだが、ハンドボールはときどき見ている。なかなかおもしろい。4月中旬にデンマーク、ノルウェーの両チームがイスラエルに遠征してきている。先日ハンドボール関係者から聞いたところによると、ことしの秋に日本チームをイスラエルに招待しようと計画を進めている」。

× × ×

## 西ドイツが優勝

**世界学生選手権・マドリード**

第二回世界学生選手権大会は昨年12月31日からことし1月6日までマドリード（スペイン）で開き、西ドイツが優勝した。

「第1次リーグ」

▽Aグループ

西ドイツ 23（11—1、12—4）5 チュニジア

フィンランド 14（6—9、8—3）12 チュニジア

西ドイツ 30（16—7、14—9）16 フィンランド

（順位）①西ドイツ2勝 ②フィンランド1勝1敗 ③チュニジア2敗

▽Bグループ

スペイン 27（14—4、13—5）9 ベルギー

スペイン 14（8—3、6—6）9 オランダ

オランダ 17（8—6、9—5）11 ベルギー

（順位）①スペイン2勝 ②オランダ1勝1敗 ③ベルギー2敗

▽Cグループ

スウェーデン 30（12—3、18—5）8 ポルトガル

フランス 19（10—4、9—2）6 モロッコ

フランス 19（9—3、10—2）5 ポルトガル

スウェーデン 31（12—6、19—7）13 モロッコ

ポルトガル 18（11—9、7—7）16 モロッコ

スウェーデン 24（16—8、8—8）16 フランス

（順位）①スウェーデン3勝 ②フランス2勝1敗 ③ポルトガル1勝2敗 ④モロッコ3敗

「準決勝」

西ドイツ（A1位）17（7—8、10—5）13 スウェーデン（C1位）

スペイン（B1位）17（9—5、8—5）10 フランス（C2位）

チュニジア（A3位）25（18—9、7—7）16 ポルトガル（C3位）

モロッコ（C4位）15（8—9、7—4）13 ベルギー（B3位）

「順位決定戦」

▽1—2位決定戦

西ドイツ 10（5—1、5—6）7 スペイン

▽3—4位決定戦

スウェーデン 22（10—8、12—9）17 フランス

▽5—6位決定戦

フィンランド 23（11—10、12—6）16 オランダ

▽7—8位決定戦

チュニジア 14（8—6、6—3）9 モロッコ

▽9—10位決定戦

ポルトガル 19（9—4、10—7）11 ベルギー

「順位」①西ドイツ ②スペイン ③スウェーデン ④フランス ⑤フィンランド ⑥オランダ ⑦チュニジア ⑧モロッコ ⑨ポルトガル ⑩ベルギー

なお第三回大会は西ドイツで行なわれる。

西ドイツの新星ムンスク

## ユーゴ、東独に敗れる

▽12月5日

東ドイツ20(10—7 / 10—6)13ユーゴ

ユーゴのことわざに「幸運は続けてはこない」というのがあるこのことわざはユーゴにとって、そのとおりになってしまった。12月1日にルーマニアを破ってまだ4日しかたっていない12月5日、ユーゴは東ドイツに負けた。ユーゴはこれまで東ドイツと5回試合をしている。一度ソ連での世界選手権で引き分けただけで、あとはいずれも14—17、15—23、10—12、12—25と惨敗を喫している。「今度こそは…」とルーマニアを破った勢いで一気に東ドイツを倒そうと張り切っていた。

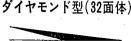
ルーマニアを破って意気揚がるユーゴではあったが、その前に大きく立ちはだかったのは東ドイツの名キーパーフランケであった。最初の得点はユーゴがあげたが、東ドイツも追いついた。ユーゴの打つシュートは絶対確実にはいると思っても、フランケの魔法のような手足に吸い寄せられ、速攻のエサとなってしまった。前半5分、ユーゴは4—3とリードした。観衆は大喜び。このあとわずか7分間に東ドイツは5点をあげ、あっという間に8—4。ユーゴは東ドイツGKの好守、GKのボール出しのよさのためシュートをつ自信を失った。ユーゴの勝利を打信じていたユーゴの観衆は躍起となって声援する。その声に励まされてユーゴは反撃したが、7—10と3点のリードのまま前半終了。

| 得 | 【東ドイツ】 | | 【ユーゴ】 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | フランケ | GK | バンジャミン | 0 |
| 0 | フリシュケ | GK | ヨーウィック | 0 |
| 5 | パプーシュ | FP | ステワノビック | 4 |
| 4 | ティーデマン | FP | イツァコビック | 4 |
| 2 | ラングホフ | FP | カラッツァ | 3 |
| 2 | ミュラー | FP | ウィカン | 1 |
| 2 | アイヒホーン | FP | アクン | 1 |
| 2 | ランド | FP | セレク | 0 |
| 1 | ハーバーホーフェ | FP | ファジュフリク | 0 |
| 1 | ツェルナク | FP | デュラネック | 0 |
| 1 | ゼンガー | FP | ボルバット | 0 |
| 20 | | | | 13 |

後半開始直後、東ドイツが加点する。ユーゴが2点入れると、東ドイツはすぐゲットしてユーゴをつき放す。ユーゴはステワノビック、イツァコビックなどの活躍で11—14と3点差に追いあげた。しかし東ドイツは再び16—11と5点差にした。ここでボールを得た東ドイツは7分間ボールをキープした。彼らはこの前の試合のことを思い出したのである。このときは13—7とリードしていてから、14—14と引き分けてしまったからである。当然のことながら東ドイツのこのストーリングに対して、審判はユーゴにボールを与えた。しかしこの処置もユーゴにはなんの役にも立たなかった。東ドイツは終了間ぎわに再び力を出し、4点を加えてしまった。終了のホイッスルが鳴った。東ドイツの勝利。

観衆もガッカリしたようす。選手らもしょんぼりしている。東ドイツに勝利をもたらしたのは、フランケ。そのフランケの活躍をシュートにつないだパプーシュ、ティーデマンの鋭い正確なシュートも忘れられない。ユーゴの選手はフェイントにひっかかりすぎた。これが大きな敗因。

▽レフェリー　ギョスツェ・スツルノキュイ(ハンガリー)

◇　◇　◇　◇

## 西独、ルーマニアに完敗
### ムンク（西独）大活躍

▽12月6日

ルーマニア 22（14－7 / 8－7）14 西ドイツ

▽レフェリー カールソン（スウェーデン）

| 【ルーマニア】 | 得 | | 得 | 【西ドイツ】 |
|---|---|---|---|---|
| レドル | 0 | GK | 0 | デルフス |
| ボゴレア | 0 | GK | 0 | レーズナー |
| ナデア | 1 | FP | 0 | バールト |
| ヤコブ | 8 | FP | 1 | バーテルス |
| オテレア | 1 | FP | 0 | ガラーフ |
| フナト | 2 | FP | 0 | グリル |
| ボペスク | 0 | FP | 0 | ヘツガア |
| イワネスク | 4 | FP | 4 | フー |
| モーゼル | 4 | FP | 0 | リョプキング |
| コスタケⅡ | 0 | FP | 3 | ミョライゼン |
| ゴラン | 1 | FP | 1 | タイス |
| ガツ | 1 | FP | 5 | ムンク |
| | 22 | | 14 | |

12月16日西ドイツ・ナショナル・チームはドルトムントにルーマニアチームを迎えた。二週間前、ユーゴに完敗したルーマニアは、西ドイツには絶対に負けられないと元気にドルトムントに乗り込んできた。ルーマニアの監督イオン・クンストは勝利の秘策を胸に静かに試合開始の笛を待っていた。西ドイツの勝利を見ようと、また、世界選手権優勝チーム、ルーマニアがどんな試合をするかと詰めかけた八千の観衆で体育館は満員。

試合開始後3分、ルーマニアのフナトのシュートが決まり、次いでドイツがすばらしいパスを出し、それをバーテルスが決めた。その後キーパーボールからのカットからの速攻が2本ルーマニアにあり、いずれもこれが決まってしまった。ルーマニアはエース、モーゼルを休ませる余裕を見せ、着々と加点した。

4－2、5－2とルーマニアがリード。このとき、この日の当たり屋、だれも考えていなかったサウスボーの新人、ムンクの初めてのシュートがネットをゆすった。次いでドイツ、ルーマニアと加点した。

ルーマニアの攻撃のさい、シュート体勢にあつたナデアがしっかとつかまってしまった。7メートルスロー。観衆は沸く。7メートルスロー。その歓声の中をモーゼルが7メートルラインに走る。矢のようなシュートを決め、モーゼルはなにごともなかったようにベンチに帰る。会場全体の拍手の中に……。ヤコブ、ガツの連続得点で得点は9－4、完全にルーマニアのペース。西ドイツも加点するが、イワネスクの連続得点などをおりまぜ、ルーマニアは差を開いていく。前半終了間ぎわ、またルーマニアに7メートルスローが与えられた。モーゼルが出ていく。再び矢のようなすばらしいシュート。得点は14－7となって前半終了。

10分間の休みの間に西ドイツは策を練った。その結果が連続4点となって現われた。ムンクがそのうちの3点をたたき出した。

そこでルーマニアは温存していたモーゼルを出した。フェイントパス、強シュートのモーゼルの活躍で、ルーマニアはまた差をあげはじめた。イワネスク、ルーマニアの当り屋ヤコブ、エースのモーゼルの活躍で得点は20－12になった。その後、両チーム2点ずつ入れ、試合終了の笛。西ドイツのシュート・ミスの多いことが目についた試合であった。

### 強化に腐心するソ連ハンドボール

一日も早く世界ベスト3に進出〝本家〟筋の東西ドイツに一矢報いたいと選手の強化に腐心するソ連ハンドボール界。ことし11月に西ドイツで開かれる女子世界選手権ではなんとしても優勝してみせようと女子チームの強化にたいへんな力を注いでいる。男女ともバスケットボール、サッカーなみの組織を作り、国内Aクラスとして24チームをあげ、さらにこれを1－6位、7－12位、13－24位の3グループに分け、それぞれリーグ戦形式で試合を行なう。その成績によって上位グループの入れ替えをして、秋の最終選手権を開くという仕組み。

ところでこのほど発表になった64年度男女ベスト20をみると、平均年齢いずれも26－27歳とバレーボール、バスケットボール同様〝高年齢〟選手が圧倒的。男子20傑のうち最年少者は14位、16位にフラクされた22歳が2人だけ。最年長者として32歳のベルドレ選手が19位ながらベテランぶりを誇示している。一方、女子20傑も平均29歳前後。21歳の新人の進出は16－17位に2人を数えるだけ。19

ルーマニアのエース・モーゼルの曲形的ジャンプシュート

# 米国人にハンドボールを
## 1972年の五輪目ざす

東ドイツに留学中のキューバ選手の練習

「米国人にハンドボールにたいする関心を植えつけないかぎり、ハンドボールをオリンピック種目に入れることはむずかしい。まずハンドボールを米国で人気のあるものにすべきだ」。この言葉はアテネのIOC総会(61年)でIOC委員たちに、見ていて美しいうえにスピードもあるハンドボール競技をオリンピック種目に入れることを認めさせようと努力し、そして失敗したハンドボール界の代表に米国のある運動記者が語ったものだ。ハンドボールの東京オリンピックでの採否はIOC総会で投票にかけられ、4票差で否決された。賛成した委員は主として欧州諸国の委員であり、他の委員は肩をすくめただけだった。

### 各国にパンフレット発送

このことからハンドボール関係者は、こんなに魅力的なスポーツを欧州以外では全く知られていないことに気がついた。それいらいハンドボール関係者にとっては、世界地図における未普及地帯の白い個所を黒く染め上げていくことが最も重要な仕事となった。この結果、ブダペストで開かれた国際ハンドボール連盟(IHF)の会議で、欧州代表は関係書類とともに4カ国語で書かれた「ハンドボールとはなにか」というパンフレットを手渡され、そして読んだ。このパンフレットはハンドボールにたいして無関心な国々にこのスポーツを紹介、宣伝し、一般化するためのものであった。こうしてパンフレットはアフリカ、アメリカ州、アジアの国々に送られたが、とくに学校、スポーツクラブなどに重点が置かれた。1972年のオリンピック大会を目ざすハンドボールとして、この第一歩は正しい方向を指していたといえよう。というのは1968年のメキシコ・シティ・オリンピックではハンドボールの参加はすでに無理だが、1972年パリか、ウイーンか、モスクワで行なわれるオリンピックでは正式種目になる希望が大いに残っていると考えたからである。

### 西ドイツの犠牲的奉仕

このところフランス、西ドイツのパイオニアたちの進出で、欧州以外の国々でもハンドボールは徐々に広まってきた。西ドイツ協会は日本、アフリカへの遠征で効果的な宣伝をしただけでなく、その遠征中、外国のコーチや選手にトレーニングや指導をしたことによって、最も価値のある犠牲的な奉仕をしたといえるだろう。日本の選抜チームが第4回男子7人制世界選手権大会に参加のため西ドイツを訪問した。このときの日本チームは国際的には全く未経験だった。しかし日本の選手は実に熱心であり、西ドイツ協会のコーチからできるだけのことを学ぼうとカメラやノートを用意してきた。疲れを知らぬ日本の選手たちは2週間にわたってきびしいコーチを受けた。この結果、日本チームは試合でときには勝つこともあり、すべての技術をみがいた。ついには西ドイツの有力チームと試合しても相当の成績をあげるようになった。このドルトムントの選手権いらい日本チームのGK今野は、それまでは受け流しのためのジャンプの練習につとめていたのが、「このあまり役に立たぬ受け流しをやめて、足をハサミ状に使う防御が世界一流のゴールキーパーに必要だ」ということを学んだ。またFPの田口は「7人制でのFPのABCは、ジャンプ・スロー、フォール・スロー、バック・スローなどをマスターすることであり、ゴールを取るためには戦術的プレーが必要なことを知った」と話していた。またキャプテンの近藤は「防御の任務はこれまでのやり方では解

決できない。技術的に自分よりじょうずなFPとの試合では稲妻のようにすばやい突進で、ロングシュートをねらう相手にぶつかっていかなければならない」と語っていた。西ドイツ選抜チームが1956年の世界選手権に参加のときの外国遠征では、一流チームが屋外で試合をやって見せることはハンドボールの普及に大いに役立つことかわかった。しかし日本チームについていえば、その体格が小さいことから彼らは室内でのプレーに適しているといえるようだ。

### ケンパが日本女子をコーチ

一方日本女子チームも西ドイツ協会から男子と同様に援助をうけた。このときの日本女子チームは1962年6月の女子7人制世界選手権に参加するため渡欧中だった。そうして高嶋督はじめチーム一行は西ドイツ協会のお客として2週間滞在、この間の経費は西ドイツ協会が負担した。日本チームはハノーバーでの国際試合のほかベルリン、ブッペタール、チュエビンゲン、ジンゲンの西ドイツ各地で西ドイツ選抜チームと試合した。高嶋監督は女子チームにたいし、男子チームが西ドイツで得た新知識をすでに教えていた。この女子選手たちは、西ドイツ・ナショナルチームの一員で有名なプレーヤーであるベルンハルト・ケンパ氏から、さらに高度の技術、トリックプレーなどを習うことができた。そうしてルーマニアで世界選手権が行なわれたとき、日本チームは大観衆の人気の的となった。

日本の学生チームも1962年12月スウェーデンで開かれた学生世界選手権のさい、西ドイツから多くの知識を得た。学生チームは地区選抜チームと4試合、協会チームと1試合を行なった。また日本学生チームが帰国してから大学、高校、クラブで教えるための教育技術まで学んだ。こんご日本と国際試合をするチームは、日本チームが男女とも相当の攻撃力を持ち、これが西ドイツ協会によってまかれたタネが実を結んだことを認めるだろう。西ドイツ協会が日本チームに行なった貢献は計りがたいものがある。

### アフリカの普及

さて西ドイツ・ナショナルチームは1961年11月日本を訪問したあと、アフリカ遠征を行なった。これはアラブ連合、チュニジアで技術コーチを行ない、模範試合を行なうためのものであった。このうち、ある試合では35,000人というフットボールなみの観衆が集まった。この訪問の返礼としてアラブ連合チームは1962年11月西ドイツを訪問した。同チームは2週間の滞在中にベルリン、ムンスターで試合をしたが、その攻撃力には見るべきものがあった。アラブ連合チームの訪問のあと、セネガル・チームも西ドイツを訪問した。こうしたアフリカのチームにたいしては西ドイツの有名なトレーナーのカッセラー、シュエッツなどの人々がつきっきりでコーチした。これらのコーチから教えた技術はテストマッチで発揮された。西ドイツ協会がこうしたハンドボールの普及につとめた結果、西ドイツにはオーストリア、アラブ連合、イスラエル、オランダ、ポルトガル、スイス、ユーゴの各国から75人のコーチたちが集まり、新技術を習っていった。このようにコーチが各国からきただけでなく、西ドイツからも多くのコーチが出かけていった。ケンパ、エストハイダー、クッヘンベッカーらのコーチがスイスやオランダを訪問、指導してきた。

### フランスも協力

このようなハンドボール普及への努力をしたのは西ドイツだけではない。フランス協会もアフリカに多くのチームを送って普及に努力した。このようなフランス、西ドイツなどの協力は、欧州で最も魅力のあるハンドボールという競技を各国に普及した。走る、跳ぶ、投げるというあらゆる要素の入りまじったこの競技を、それにふさわしい待遇、つまりオリンピック種目に入れようとする努力の一環なのである。

〔この記事は西ドイツのスポーツ誌から翻訳したもの〕

〔写真説明〕（上）西ドイツの試合（中）1962年に日本女子チームが西ツドイへ遠征したとき、ケンパ氏のコーチを受けているところ（下）西ドイツでコーチをうけるセネガルチーム

## 1965年の展望（上）

# 5強時代に突入（一般女子）
# 実業団男子は〝打倒大崎〟

杉山茂

**新シーズン開幕早々、男子の中国遠征、そして初夏に予定される男女のソビエト遠征、秋の女子世界選手権出場など今年も球界は意欲的だ。**
**国際進出の底辺となる国内の情勢はどうだろう。話題を求めて展望して見た。**

### 男子

昨年度の協会優秀チームは大崎電気（埼玉）、全立大、芝浦工大、日体大ク（以上東京）、同大（京都）。この5チームは今年も強そうだ。これに関学（兵庫）、教大（東京）、大阪イーグルスあたりを加えた8チームを今年のトップグループと呼んでよいだろう。これ以外のチームから全日本優勝者はまず出まい。

### 4大タイトル狙う大崎

3冠王の大崎電気は新しく西村（法大出）、市原（広島商大出）らを加えた。二人とも学生界を代表する優秀選手で、特に市原は180センチ、77キロという恵まれた体力の持ち主。大崎の攻撃力は一段と破壊力を増し、念願の大型化に一歩近づいたと言ってよい。竹野、田口、GK福本らが健在なうえ、西村の参加、それに井上、金田らの成長もあって最強の名に恥じぬ布陣である。国体、全日本実業団両タイトルの確保は確実視されているだけに、残る二大会（全日本総合、同室内）にも優勝して4冠王を飾りたいところであろう。

昨年大崎に〝待った〟をかけた唯一のチーム全立大は、木野を主力とした現役の力が問題だ。安達、中根、それに新しくOBになった江名はまだまだやるだろうが、練習量が問題となってくる。大阪イーグルスや日体大クにも同じことが言える。その点、学生勢は〝若さ〟という武器がある。

実業団球界の拡充からシーズンごとに、学生対実業団の対決は熱っぽさを加えてくる。今年はその第一期ともいえそうである。関東勢ではNO1.芝浦工大が健在だ。スケールが少さくなったなどといわれながらも、近藤を中心に攻守の安定感は抜群。今年も全日本学生、全日本学生王座の本命である。教大の評判も高い。日体と並ぶ名門も近年は低迷ぎみでその復活が待たれていたが、エース北井をかなめに充実してきた。昭和23年秋いらい遠ざかっている関東学生優勝へ意気盛んだ。

昨秋、波乱をまき起こした法大の存在も興味がある。優勝をねらえる力がじゅうぶんなのでおもしろい。久しく沈黙を守っている中大や、カムバックOBへが積極的に乗り出した明大、早大。16シーズンぶりに一部入りを果たした茨城大、のぼり坂の日大などは、優勝争いを根底からゆさぶる〝波乱の目〟として手ごわい存在となる。

### 同大、関学中心の学西勢

関西勢では同大をまずあげねばなるまい。関学に代わって4年連続学生王座戦に出場した。このほか昨年は全日本学生準優勝、全日本総合室内3位などの活躍を示し、日仏戦（京都大会）を主管するなどすべての面で飛躍いちじるしいものがある。鳥井とGK奥本の卒業は大きいが、斎藤、林、飯田らが自信をつけているので、今年も健闘しそうだ。関学への期待もまた強い。石井、籔田、宮本ら定評あるベテランの巧技、飯端のダイナミックな動きなど同大を上回るものがある。追われる立ち場になった同大。追う関学。今年もまたエキサイトした対決を見せよう。しかも4年間、芝浦工大に独占された全日本学生王座の奪還は共通の目標である。互いにライバル意識をもやしながらも、すべての全国大会でタイトルをめぐって東日本の強豪と激突することだろう。

関西で心配なのはこの2校の力がとび抜けてしまっているので、他校との間に再び断層ができそうなことだ。関大、京大あたりが奮起し、甲南、立命大などが上位進出をねらわないようだと、関西リーグは盛り上がりを欠いてしまう。名門神大、大阪歯大などのカムバックも期待したい。復帰の桃山学院大が、どこまで立ち直るか注目される。

東北・北海道の東北学院大、東北大、東海の中京大、中四国の広島商大、広島大、九州の西南学院はここ数シーズンほとんどその地区のトップにいる。他校の台頭が強く望まれる。

### 意欲的な実業団珠界

拡充の一途をたどり、連盟が正式発足した実業団球界の動向はシーズン最大の話題。そして各チームが「打倒大崎電気」を旗じるしにしているのはまことにたのもしい。

大崎を破ることは全国を制することだ。会社側の許す範囲で優秀選手の補強を進めるチームが目だってきたのは、優勝への意欲が高まっていることを物語っている。

2年連続して全日本実業団準優勝の宗形製作所（大阪）は新たに坂本、五味（ともに桃山学院大出）ら5人を加え、越智、久保ら現有勢力にプラスしてチーム力に厚みができた。千代田印刷機製造（東京）も木田、佐久間（ともに芝浦工大出）らが入社し、青木を軸にした攻撃陣は期待していい。この2チームは〝打倒大崎〟のホープであり、また各大会で学生、一般チームの前へ大きく立ちはだかることは必至。

このほか抜群の配球力を持つ大下（中京商）と本田（堺工高）を入れた本田技研（三重）、メンバー不動の岡野バルブ（福岡）、過去に大崎と1点差の接戦を演じた唯一のチーム三菱レイヨン大竹（広島）、

実業団球界の最古参となった住友化学菊本(愛媛)などがAクラスの力を持っている。新進チームとしては日本鋼管(神奈川)、三井石油化学(山口)、川崎車輌(兵庫)、丸善石油（和歌山）などがどこまで力を伸ばすか。ダークホースとしてあげておきたいのは常盤工業（岐阜）だ。国体開催をひかえて恵れた条件下にあり、39年度全日本ジュニアに選ばれたGK渡辺、今井、早見の加納高トリオと永富（芝浦工大出）を加えて戦力は倍増した。また東西の学生OBを主力とした安田生命(東京)、静岡日野自動車なども練習量に不安はあるが、一発の期待はじゅうぶんかけられる。

### 実業団連盟の課題

実業団球界の問題は会社公認チームと、社内の有志によるクラブ的チームとの「差」である。現状ではむしろ後者の方が多い。一部のチームが補強に積極的になればなるほど、この「差」は大きくなってしまう。本部協会は有志の情熱が会社側を動かし、各チームが会社公認の援助を受けられるようになることを望んでいるようだ。いつものことながら本部協会のこうした態度にはフンガイさせられる。新発足の全日本実業団連盟がこの点をどのように調整していくか。実業団球界の正確な現状分析を怠たるようだと、せっかく芽ばえたモノを枯れ果てさせてしまうことになりかねない。あえて研究をうながすよう問題を提起しておきたい。

### ますます苦しいクラブ

実業団の進出で、ますます苦しい立ち場におかれているのがクラブチームである。全国大会でクラブチームが上位に勝ち進むことは、もはやむずかしいといったら極言だろうか。わずかに桜丘会（愛知）が山田、川島、小川らの攻撃力でトップレベルを保っているにすぎない。このほかでは函館サンダース(北海道)、足利球友会（栃木）、清商ク(静岡)、氷見ク（富山）、佐野工ク(大阪)、山口ク、下関ク(山口)、熊本クが目だっていどである。学生OB界も日体大ク、法友ク、芝浦ク(以上東京)、東北学院OB会（宮城）あたりを除いては、ほとんどがOBの友好機関としての組織である。

低迷を打破するためにクラブ界の新しい傾向として、クラブを併合して〃大会用〃のチームを編成するのが目だっている。一本立ちのむずかしい（単独では全国上位進出がむずかしいという意）実業団が、この編成の中に加わる例もあるようだ。

昨年の国体で活躍した全愛知や全新潟などはその好例で、全愛知は桜丘会を母体に新三菱重工、中京クなどの選手による混成チームだった。国体に限らず、この種のチームは今年はさらに増えるのではなかろうか。学生、実業団に次ぐ〃力〃としては、むしろクラブチームよりも一昨年ごろから教育界の充実が目だつ。大阪イーグルス、スワロー兵庫、GTC(岐阜)、全愛知教員ク、大分教員ク、長野教員団、熊本教職員ク、山口教員クなどの実力は特に高い。これは国体種目を一般と教員とに分けた結果にほかならない。実業団に追われるうえ、主力が教員チームに流れてはクラブチームの今後はいっそう苦しくなろう。「底辺拡充」をとなえる協会が実業団に気をとられすぎて、球界発展の功労者「クラブチーム」の存在を忘れてしまってはいけない。なお勝敗問題とは別に東京YMCAク（昭和13年第2回全日本選手権出場）が27年ぶりに復活の動きがあるとニュースはうれしい。

### 焦点は5強の争い

**女子**

女子の焦点はズバリ実業団5強の争いである。それ以外に話題はない。秋には2回目の世界選手権出場がひかえている。その主力は実業団の選手によって占められることだろう。

愛知紡の独走時代から大洋デパート(熊本)、大崎電気（埼玉）の進出による3強の対立。そしてレナウン東京（東京）の進出による4強激突。昨年は田村紡（三重）のすばらしい活躍で遂に5強時代に突入した。男子においてもこのような多数の強者がいちじに出た例はない。しかも5強それぞれの所属が東に散り、西にとんでいるのは他の競技界においてもあまり例がない。2冠を持つ大崎電気は男女優勝の宿願を果たし、新シーズンは男女8タイトル独占という破天荒な夢を描いている。鈴木、宇井、田村のトリ方を軸に永井、早川、黒川、古谷、川崎らのメンバーは昨年と全く変わらない。せり合うともろい欠点もなくなり、攻守に安定感を増した。

レナウンは有名選手こそいないが10人近い新人を補強した。昨年は持ちゴマ不足から失った試合もあり、風岡、渡辺、太田に続く選手の登場が待たれる。塩川監督の選手づくりは定評がある。若い選手、新しいチームを育てあげることに、大きな意欲を持っているだけに興味のあるところだ。田村紡には最も注目したい。チーム結成いらい満三年。すべてに機は熟した。小川部長は昨年12月の全日本総合室内優勝後『ちょっと早すぎました』と語ったが、3年目の今年にかける期待は大きい。レギュラーメンバーは不動。新たに加わる信藤（津女子高）も全国高校3年連続出場の選手だが、ちょっと入り込むスキがない。内藤、川口、水谷、清水、種村の男まさりの攻撃力は、他の4チームよりはっきり上と見る人も多い。

GK渡辺の気力あふれたプレーもこのチームの要である。

### 新鋭を追う古豪

大洋デパートと愛知紡は、昨年は一つも優勝を飾ることができなかった。特にシーズン前、安定度唯一と予想された大洋は準優勝3回が示すように、最後まで幸運を呼び込めず1年間を終わってしまった。二軍格の熊亀（ゆうき）クが2月の全日本実業団で決勝リーグに勝ち残ったことでもわかるように、層の厚さは女子界随一である。西村、久連松の両ベテランが健在だし、新保、高山、隈ら若年が伸びてきた。熊亀クで自信をつけた今村、枝尾、新人木原（菊池農蚕高）も大きな戦力。愛知紡は塚原ら5人が退き、黄金時代を知る選手は篠崎と古谷だけとなった。伊藤（名女商）ら10人の新人を迎えたが、若手にあまり負担をかけることは無理。古谷と小林、とりわけ小林の活躍がカギ。今年を足がかり第二期黄金時代を目ざしている。新旧交代期とはいえ、優勝候補の一角からこのチームをはずして考えることはできない。

（次回は高校）

# おめでとう！高嶋さん

楽書帳　20回

杉山　茂

○…高嶋理事長は日本体育協会の理事選挙に当選した。『高嶋さんおめでとう』。新シーズン早々、まことにうれしいニスである。『これでようやくハンドボール界も、他の競技界と肩を並べられるようになった』と言った人がいた。このことで一挙にハンドボールがマイナースポーツからメジャーへ押し出されるとは思わないが、実感としてこの発言はわかるような気がする。高嶋氏はハンドボールひと筋に生きた人である。必要とあればいまだに自分から『ガリ版書き』までするのだ。あるとき高嶋氏に『趣味は？』と聞いたら、なにをいまさら……といったような表情で『ハンドボールさ』と答えた。普通こういう返答はキザに聞こえるものだが、筆者にはすなおに聞ける響きがあった。その『ハンドボール高嶋氏が『体協の青年将校』などといわれ出されたのはここ二、三年のことである。

○…例のオリンピック種目削減問題のとき、JOC総会、体協評議員会、組織委員会などで高嶋氏はスポーツ界のお歴々を前にして熱情あふるる弁舌をふるった。そして削減決定の報告があったときは思わず男泣きとなり、議場をしゅんとさせた。正論―それも理想ばかりを連ねたものではなく、幅のある論理は新しい問題をかかえた体協の執行メンバーの中でも精彩を放つことであろう。

○…国際的にも4回にわたる欧州行きですっかり名が売れた。国際ハンドボール連盟未加盟国の中国との交流が同連盟から正式に認められたのも「タカシマ」の名がかなり物を言ったといわれる。反面、そうした社交性が欠点となってハンドボール界の一から十までを背負い込み、身動きができなくなることもある。しかもそれによって『八方美人的だ』といわれたり、敵をつくったり、妙な立ち場に立たされたりすることもあるのだから損な性分である。

○…高嶋氏が体協理事になったことで、ハンドボール界そのものが大きく飛躍するとは考えられない。なぜなら今回の栄誉は高嶋氏個人の実力によるものであり、『ハンドボール界』という背景はあまり作用をしていないと筆者は思うからである。少くともこれまでのハンドボール界は高嶋氏にたよりすぎた。あとの連中は、口で言うだけで実行力がともなわない。高嶋氏を体協理事にさせたものは氏の実行力、活動力に対する評価の現われだと思う。『出よ!!第二の高嶋

○…○…○…○

---

## 時評

# もめた馬場副会長問題

## ―これを機に望まれる発展―

ことしの全国評議員会は馬場副会長の再任をめぐって紛糾した。その理由はなにか。協会がこれから大きく前進するには、清新の気に満ちた若手を送り込むのがそれである。出口副会長は東京都体育協会長の重要ポストにあるので文句なく再任された。しかし馬場副会長については「関西学連のトラブル、桃山学院大の除名問題、大阪協会長としてこのトラブルを傍観していた。責任問題である」と鋭く追及した。さらに「日本協会の下部組織である高体連ハンドボール部の副部長をやっている。日本協会の副会長がこれでは困る。当然辞任すべきだ」、「聞くところによると重量あげ協会の役員もしている」と悪い材料が重なった。

これを持ち出したのはウルサ型の渡辺評議員（東京都会長）である。役員改選のときは馬場副会長、高嶋理事長ら執行部は全員退席し、その中で評議員がじゅうぶん意見を交換した。森田評議員（奈良県理事長）は馬場副会長擁護派の一人として終始弁明、激しい論戦が展開された。役員改選でこんなにモメたことは珍しい。確かに馬場副会長のハンドボール界に尽くした功績は大きい。これはだれでも認めている。だが関西学連のトラブル、桃山学院大の除名問題が起きたとき、馬場さんが責任をとって副会長を辞任していたら、実にりっぱだったと思う。そうなれば評議員会は心の温かい人たちばかりだから「もういちど馬場さんに副会長をやってもらおう」と声が出たかもしれない。結局は近藤評議員の「副会長四人制」を提案して事態を収拾したが、「男は引きぎわが肝心」ということをまざまざと見せつけられた。

筆者は悪意があってこの問題を取り上げたのではない。いままでメクラ判を押していたような形の評議員（各都道府県会長）が大きく成長したことを物語るものとして大いに注目される。渡辺評議員の肩を持つわけではないが、こうズケズケものを言う人が現われたのはハンドボール界にとって大きなプラスと見ていい。執行部としてもうかうかしていられない。評議員会が執行部のしりをたたく。執行部はよい方向へ前進する。ハンドボール球界が発展する。実にいいことだ。そうなってほしい。とくに馬場副会長の政治的手腕に待つところ大きいものがある。

◇　◇　◇　◇

# 第5回日独交歓試合

## 日本選抜が大勝

第5回日独交歓ハンドボール、日本選抜チーム対西ドイツ練習艦隊〝ドイチェランド号〟乗り組み員選抜チームの試合は3月27日午後2時30分から東京・駒沢屋内球技場で行なわれた。ドイチェランド号は3月24日東京港晴海埠頭に入港、駐日西ドイツ大使館を通じて交歓試合を申し入れてきた。このため日本協会は東京都協会に協力を要請し、急いで交歓試合を開いたもの。

試合は日本の圧勝に終わった。日本チームは大崎電気、千代田印刷機両チームの選抜。25、26日の両日駒沢で合同練習を行なった。なお日本協会から日本人形、東京都協会から「カブト」を贈呈した。試合終了後、ドイチェランド号で西ドイツ海軍招待のレセプションが開かれた。

試合前に練習する西ドイツ海軍選抜チーム（駒沢屋内球技場で）

日本選抜 38（15─3 22─4）7 西ドイツ

▽レフェリー 安藤（法大出）

| 得 | 〔日本〕 | | | 西ドイツ | 得 |
|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 福本（大崎電気） | GK | GK | オードリー | 0 |
| 0 | 永富（千代田印） | GK | GK | ブラスリー | 0 |
| 2 | 竹野（大崎電気） | FP | FP | ビガー | 0 |
| 3 | 西村（大崎電気） | FP | FP | フィヒネット | 0 |
| 3 | 青木（千代田印） | FP | FP | シェーマン | 0 |
| 2 | 小谷内（大崎電気） | FP | FP | バルネッケ | 0 |
| 6 | 井上（大崎電気） | FP | FP | ドウンケル | 1 |
| 4 | 市原（大崎電気） | FP | FP | グラウト | 2 |
| 2 | 宮原宏（大崎電気） | FP | FP | ノウィッツ | 3 |
| 5 | 金田（大崎電気） | FP | FP | バウエル | 0 |
| 1 | 坂野（大崎電気） | FP | FP | ホフマン | 1 |
| 4 | 餅原（大崎電気） | FP | FP | グルムコワ | 0 |
| 4 | 安藤（千代田印） | FP | FP | シュナイダー | 0 |
| 1 | 田口（大崎電気） | FP | FP | | 0 |
| 1 | 北村（大崎電気） | FP | FP | | 0 |
| 38 | | 7MT | | | 7 |

〔評〕西ドイツは約半年も練習していないという。したがってスピードがなく、コンビもとれない。試合は38─7と日本のワンサイドに終わり、全くあっけなかった。しかし西ドイツはほとんどが長身者。背伸びしてパスすると、日本の選手は手が出なかった。ボールを完全に握っている。個人プレーは一応いいものを持っているが、なにしろ練習不足だからスタミナがない。とはいうものの25分ハーフ。前後半の50分動いていた。日本が速攻の連続で大量点をあげても西ドイツはいやな顔ひとつせず、タイムアップのホイッスルまで善戦したのは賞めていい。

GKはうまかった。とくに下半身が強く、ワンバウンドシュート、アンダー・シュートはほとんどとめていた。上半身も練習不足とは思えぬほど柔かく、足と両腕とが同時に動いていた。これは大いに見習うべきだ。西ドイツではこのGKのプレーが光っていた。

日本はおもしろいように打った。速攻をかけると西ドイツはなかばあきらめ、日本選手のあとを追おうとしない。後半になると1人残して5人攻撃に切り替ィえたが、足がいうことをきかなかった。

〔真写説明〕（右）試合終わつて仲よく握手。（上）女性通訳と記念撮影する東京在住の西ドイツの役員（下）西ドイツ海軍チームの監督さん。左端は通訳の藤本勉氏（東大OB）

## M・M・P・I による
# ハンドボール選手(女子)の性格について

山本隆久

ゲームにおいて勝利を獲得するためには「体力及び技術に優秀な選手を集めればよい」と必ずしも一言にして言えない場合がある。すなわちチームゲームにおいては、チームの各選手がすぐれた体力及び技術の持ち主である場合でも、各選手のそれらの力が、ゲームの場でまとまったチーム力として発揮されることがなければ、必ず勝つと言い得ないからである。チームゲームでは、チームの力の育成にその重点をおいていると考えられる。チーム力はM（各選手の体力・技術）に或る系数を乗じてあらわされる。チーム力を高めるためには各選手の体力、技術を高めればよいのである。しかし必ずしも各選手の体力、技術が倍になったからといってチーム力が倍になるとは限らない。½に減る場合もあるし、逆に3倍、4倍というチーム力になって発揮される場合がある。ゲーム中に優勝であったチームが、何かの拍子に乱れその原因の完全な分析、究明が不可能なことも起こり得る。これらのことはチーム力を決定するある〃系数〃の問題であろうと思われる。このことを考慮しないかぎりチーム力の向上はのぞみえないのではないだろうか。

系数の内容にはいろいろのことが考えられ、その分析も各種の方面から為すできるが。選手の持つ性格的なものを考察することも系数の分析、究明に重要な意義を持っているであろう。各選手の性格はそのチームの精神的なチームワークの構成に多分に影響する。従って練習にさいしても、指導の場においても、選手がお互いに、あるいは指導者が選手の性格を適確に把握しておく必要が生じてくる。どのような性格の選手をどのようなポジションで、どのようなときにどのような技術をやらせるか。今まで各チームの監督、コーチが主観的に、抽象的に選手の性格を判断して起用してきたがそれに科学的な裏付けを行ない、選手の長所を生かし、より強力なチームたらしめる参考に供したいと思う。

アメリカにおいては1954年にM・M・P・Iを用いてプロ野球選手の性格診断を行なわれた。またわが国においてもM・M・P・Iによるスポーツマンの性格についての報告がなされている。

### M・M・P・I とは

性格を調べる方法には各種の方法が考察されている。今回用いたM・M・P・Iというのは Minesota Multiphasic Personality Inventory の略で、単一の検査で、人格的社会的適応に影響するパーソナリティの主要に面を明らかにしようとする質問紙法による人格検査の一種である。東京大学の教育心理学研究室および医学部附属病院分院神経科の両専門分野からの共同研究によってM・M・P・I東大改訂版が作成された。

M・M・P・I は524の質問項目からなり、それらの質問に対して「ハイ」または「イイエ」、あるいは「どちらともいえない」いずれかで回答するようになっている。今回は一人の検者が質問を読み上げ、被験者は別に定められた回答用紙に回答する方法で行なった。

この応答は四つの妥当性尺度と10の臨床尺度に分けて採点され、一人一人の性格が正常人との比較でTスコア換算の上、プロフィルとして表わされるのである。

### 実施の時期及び被験者

時　期…昭36年6月20日

被験者…全日本代表女子チーム　15人

### 結果とその考察

結果は図に示すとおりである。この図は全被験者の得点を各項目ごとに平均化したプロフィルで●—●はハンドボール選手（女子）、×…×は一般人（女子）を示している。

ハンドボール選手と一般人とを

比較して見ると、神経症的傾向をみる Hs. D. Hy. Pt の各尺度では、Dを除く他の三項目でハンドボール選手の方が僅かであるが得点が高い。このことはハンドボール選手が一般人に比べていわゆ線の細い傾向を示している。言い換えればデリケートな神経の持ち主であるといえよう。機敏な動作が要求されるハンドボール選手としての性格が、このような傾向に現われてくるのであろう。Pa について見ると一般人に比べて低い値を示している。これは現在の環境に満足していることと思われる。また D. Ma の値から活動的であることがうかがわれ、Mf が一般人より高いことは興味の持ち方がより男性的傾向にあることがわかる。社会的構成尺度をあらわすSiでは、低い値を示されている。

平均化されたプロフィルからは以上のような性格を推察することができる。これらのことは、11人制男子のハンドボール選手（インターハイのベスト8）群をポジション別に検討した場合のFWと非常によく似た傾向をあらわしている（FW.と他のポジションの選手とを比較した分析の結果である）。また女子のインターハイベスト8の選手群の比較からも女子の場合はGKについてであるが同じような傾向を示すことが報告されている。このことは男女の性別を問わず、ハンドボール選手は一般的に細心で緻密な、活動的で、協調性に富む性格の持ち主であることがのぞましいのであるといえよう。

他のスポーツ種目の選手と比較（大学リーグ一部校）とはほゞ同じような傾向を示している。バスケットボールの女子選手（実業団一流チーム）と比べて見ると、線の細さが目だち、より一層活動的であることがのぞまれる。

このように平均化されたプロフィルではほぼ一般人に近くなり、その特色、すなわちハンドボール選手としての性格特性がはっきりと示されにくくなる。従って今後は被験者の数を増すとともに個人のプロフィルと、監督、コーチなどの指導的立場にある人々の主観的ではあるが、ハンドボール選手としてより具体的な『のぞましい性格』とを比較検討し、客観的な「ハンドボール選手の性格」を分析して行きたいと思う。

**結論**

以上のような考察から女子ハンドボール選手は細心で、活動的で、協調性に富む性格の持ち主がのぞましいことが判明したが、同じようなスポーツの特性を持つと思われるバスケットボール選性に比べては、さらに線がふとく、より活動的であることがのぞまれよう。

**あとがき**

M.M.P.I による性格検査では過去、現在、将来が同じ人では、同じような傾向を示すかどうかが問題になるであろう。日米におけるプロ野球の一軍と二軍、あるいはメジャーリーグとマイナーリーグ、ハンドボール選手においてはレギュラー、バスケットボール選手（女子）では得点能力、ボール処理能力にすぐれた選手とそうでない選手との間に顕著な差が認められ、いずれの場合でも優秀な選手ほどのぞましい性格を示している。環境によって性格が変わるものでないとすれば、現在の性格によって、将来の起用を考慮するべき必要性が生まれてくるであろう、さらにまたスポーツを経験することによって、「性格の形成」に大きな影響を及ぼすであろうことも推察される。事実、大学および高校のハンドボール選手（大学の一流選手とインターハイベスト8）を対象として経験年数別にプロフィルを作成すると、大学選手の方がよりのぞましい性格をあらわしている。

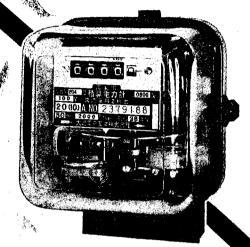
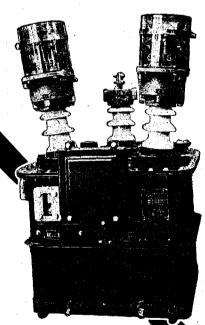
前に述べたように選手の性格を適確に判断し、適材適所の起用はゲームの勝敗を左右する大きな要因の一つである。スポーツの科学的研究の中では、精神的なもの（心理的分野といってもよい）が最もむずかしいものの一つであり、特にチームという個人の集合体の分析は非常に困難である。しかしながら主観的なものからより客観的なものへと努力していきたいものである。

ご協力をくださった全日本代表女子チームの役員及び選手の諸姉と、東京大学教養学部のM.M.PI研究グループ、高嶋冽理事長、広田公先生に厚く感謝します。

**参考文献** ① John P. La Placa ; Personality and Relationship to Success in Professional Baseball Research Quartely 1954 Oct ② 東京大学生部M.M.PI東大改訂版研究報告と実施手引昭和三十七年四月 ③ 高嶋冽他 M.M.P.I によるスポーツ選手の性格に関する研窠体育学研究第七巻第一号二七〇頁 ④ 滝沢英夫他 M.M.P.I 高校女子ハンドボール選手の性格について体育学研究第八巻第一号一三三頁 ⑤ 滝沢英夫他 M.M.P.I によるバレーボール選手の性格に関する一考察日本体育学会第一四大会 ⑥ 青井水月他 M.M.P.I によるバスケットボール選手の性格に関する一考察体育学研究第六巻第一号三五四頁 ⑦ 神田順治他 M.M.P.I によるスポーツ選手の性格に関する研究（プロ野球選手についての一考察）体育学研究第七巻第一号二六九頁 ⑧ 滝沢英夫他 M.M.P.I による大学ハンドボール選手の性格に関する一考察体育学研究第六巻第一号二一五頁 ⑨ 青井水月他 M.M.P.I によるスポーツ選手の性格に関する研究体育学研究第七巻第一号二七一頁 ⑩ 滝沢英夫他 M.M.P.I によるスポーツ選手の性格に関する研究体育学研究第七巻第一号二七二頁

Osaki

最高の確度と信頼度を持つ

# 積算電力計

OBOG型広範囲単相積算電力計

# 計器用変成器

6600V用重予型PCT

主要製品

積算電力計・電流制限器
計器用変成器・電圧調整器
配電盤・分電盤・制御盤

## 大崎電氣工業株式會社


本社・五反田工場　東京都品川区五反田1の263　電話東京(443) 7171代表
蒲田工場　東京都大田区原町10　電話東京(732) 6511代表
埼玉工場　埼玉県入間郡三芳村大字藤久保　電話所沢(22) 1205代表

## 球界パトロール

# 〝打倒〟大崎宗形製作所

（大阪）

3月14日から1週間ばかり大阪へ出張していたので、暇をみて宗形製作所の宗形専務と平川、鷹見両君に会った。宗形製作所はことし新人6人を入社させ〝打倒大崎電気〟の大きな目標を立てた。「いつまでも大崎電気の優勝ではおもしろくない。打倒大崎電気を合い言葉に…。また夏の全日本選手権大会にはベスト4を目ざし、岐阜の国体では決勝進出、来年2月の全日本実業団選手権大会には優勝を…。このためには4月から週5日制になる。土曜日は練習日とする。こまいんなプランでいます」—これは宗形専務の言葉。実にハナ息が荒い。こうこなくては実業団はおもしろくない。宗形専務は「私はまだ独身です。優勝するまでは結婚しません」と悲壮な決意(?)である。すでに子持ちの鷹見、平川両君は神妙な顔。

ところで話題を日中交流、日ソ交流に移した。とたんに宗形専務がからだを乗り出してきた。「4月の中国遠征は無理かもしれないが、ソ連遠征なら日本協会に協力しましょう。それまでには仕事も一段落する。もしそのような話があったら、いつでも応じられる体制をつくっておきます。日本協会の高嶋さんにはいつもお世話になっていますから…」—宗形専務はきわめて協力的である。昨年フランスチームが来日したとき、宗形製作所が対戦することになっていた。それが大阪協会の手違いから実現せず、せっかく集めたギャラのやり場に困ったいきさつがある。それで宗形社長(専務の実兄)は「ハンドボール協会はなにをしとるのか。非常識もはなはだしい。さっそくハンドボールを解散せよ」とのきついお達し。それを専務が仲にはいってなんとか収めたという。いずれにせよ、ハンドボールへ注ぐ愛情は実にりっぱである。こういうチームは大いにかわいがってやらないと、球界のマイナスになる。夏の全日本総合選手権大会に備え8日1日から3日間東京に遠征して、大崎電気、千代田印刷機チームに対して他流試合をいどむとか。ますますおもしろくなってきた。

## 球界パトロール

# 実現するか東神戦…………

（神奈川）

「東神戦をやろう」つまり「東京・神奈川県対抗戦」のことである。38年まで高体連の主催で10年近く続けられてきたが、39年は公私とも多忙(?)のためか実現しなかった。というのは東京都協会も神奈川協会も組織ががっちりしてきたので、〝このへんで両都県の共同主催にしたらどうか〟という声がでてきた。それで東京都神奈川県両協会も「当然協会主催にして持ち回りにすべきだ。さっそく相談して取り決めよう」という。話はトントン拍子で進み。近く第1回会合を開くことになった。

いまの案だと7月に神奈川県下で開く。従来は高校男女の2試合だったが。ことしから「第1回東京・神奈川県対抗戦」と名打って、一般男子2、一般女子2、高校男子1、高校女子1、中学男子1、中学女子1、自衛隊1、教員1の計10試合にしようという。しかも一度この対抗戦に勝ったチームは次回から出場できないようにしたらどうかとの名案もでている。コート2面を使い、一日でやってしまう。インドでなく、すべて屋外で…。「スポーツは太陽の下で」というのがねらいである。

◇　◇　◇

## 球界パトロール

# 頭が痛い実業団リーグ…

（東京）

大阪や愛知では実業団リーグ戦が盛んである。実にうらやましい話だ。ところが日本協会のおひざ元の東京はじめ関東地方では実業団のリーグ戦がない。そこで東京都協会の渡辺会長が「東京でも実業団リーグ戦をやろうじゃないか。関東ブロックの実業団チームを集めて関東実業団リーグ戦というのはどうだろう」と名案を出した。これはまだ実施の段階ではないが、関東の実業団チームといえば男子は大崎電気、千代田印刷機、日本鋼管、自衛隊勝田、自衛隊体育学校、32普通科連隊…、女子は大崎電気、レナウン工業東京、東京重機、三菱鉛筆、ロンド工業…とかなりある。これだけあって、いまだにリーグ戦がないのもおかしな話。

そこでいつやろうかという。実業団連盟もないので手がつけにくいのが実情。ウイークデーの夜にしようか、それとも日曜日の昼間にしようかと関係者は考え込んでいる。不況の折から果たしていつ実現するか…。コートひとつ借りるにしても高い。駒沢体育館を午後だけ使用しても七千円。大阪、名古屋のように気軽に使えるコートがないのが頭痛のタネ。〝オリンピック施設はできたけど、高くて使い切れない〟というのが真相。

## 球界パトロール

# 誕生した全日本実業団連盟

（東京）

全日本実業団連盟は2月6日、3月22日の2回の会議でだいたいでき上がった。すでに全国の実業団チームに規約案を発送し、過半数が賛成したのでこの規約案は事実上成立した。あとは役員人事が残っている。大崎電気の渡辺社長が連盟結成の世話人となり、規約案の作製、あいさつ状、内規、実業団チームの名簿づくり、発送など一人でやってのけた。実に精力的な人である。会長をだれにするかが大きな問題。ところが渡辺社長は見事愛知紡績の小杉仁造社長をくどき落として会長にしてしまった。やることの早いこと。これには恐れ入った。3月22日の会議でも役員人事を一任され、その日のうちに会長、副会長、理事長、常務理事のブロック別割り当てを

やってのけた。常務理事以上の役員にはチームを持っている会社の社長もしくは重役の方にやってもらう方針のようだ。渡辺さんのメモ帳を見ると各オーナーの名前がズラリと書いてある。書いてないのは自分の名前だけ。実業団連盟の分担金はA・B・C最初の3クラスに分けたが、出席者の強い要望があってAクラス五万円、Bクラス（当分の間置かず）、Cクラス二千円と修正。こんど各チームにたいして、「分担金はこのように決まりましたから、ご承認願います」とハガキを同封してのあいさつ状。これはなかなか大変な仕事である。おかげで大崎電気工業秘書室の女性三人はテンテコ舞い。わずか一万四千円ていどの準備金で一切合切やるのだから、すでに赤字財政（?）となっている。「これで文句を言われちゃ割りが合わない」。

## 私の提案

### 選手選考は慎重に

中国遠征チームは選手の選考に頭を悩ましたが、とにかく4月15日羽田を出発した。高嶋氏もほっとしたことだろう。そこで私は次の世界女子選手権大会に出場する日本代表の選考について次のことを提案する。

（1）三十九年の優秀選手をそのまま代表選手にふりかえるのはやめた方がいい。

（2）そのかわり、女子実業団チームから三十人前後の候補選手を強化合宿させ、その成果をみて慎重に選考してほしい。

（3）その条件として世界選手権大会から帰国しても、なお二年ないし三年間はプレーする選手を選考すること。それは帰国後に引退したのでは、なんのために世界のヒノキ舞台に行ったのかわからない。「ヨーロッパ遠征はヨメ入り道具ではない」。

（4）高嶋理事長が中国選征から帰国したら、すぐ強化合宿にはいること。

（5）男子の中国遠征の選手選考のような不手ぎわのないように、関係者と事前に話し合いをするのがのぞましい。

とくに（3）の項はむずかしいと思うが、じゅうぶん慎重であってほしい。日本の女子のレベルを引き上げるためには、海外遠征の経験を持つ選手が中心となって現役でプレーしてもらいたい。

## 新聞の切り抜きから

### 〝悪の根〟は追放せよ

東京都議会の議長選挙に関連した贈収賄事件はますます波紋が大きく広がり、ついに小山議長まで逮捕され、くるとこまできた感じだ。ところでスポーツ関係の役職を歴任している出口林次郎氏がこの事件の〝中心的人物〟としてすでに逮捕、起訴されたことはスポーツ界としても大いに考えねばならないことだろう。出口氏は東京都体協会長をはじめ日本体協理事、体操、ハンドボール、バレーボール協会の副会長といった要職にある。アマチア・スポーツというものは精神面を強調し、とくに金銭的問題には潔白なはずだ。

それが選手を指導する立ち場にある出口氏が収賄容疑で起訴されたことは、同氏がすでにアマ・スポーツ関係者としてその資格を失ったことを意味する。〝罪状が決定するまでは……〟と各団体ともその去就を見守っているが、疑いを持たれた以上、辞任を要求すべきではなかろうか……。伊藤都体協理事長は「本人とも話し合ったが、今後も会長を続けたい意向のようだ」といっている。

## 全国大会における零封試合記録（7人制）

昭和32年度から女子と中学が、昭和38年度から男子も7人制に統一されて試合内容は一変した。そしてスピーディな攻防がハンドボールの醍醐味となった。この改革によってスコアも11人制当時の10~20点から、20~30点台へと移り50点ゲームも出てくるようになった。昨年12月の第11回全国日本総合室内選手権大会女子で、シャットアウトゲーム（零封試合）が2試合も生まれて話題となった。

ハンドボールでシャットアウトゲームは珍しい。全国大会では一年に数えるほどしか記録されない。7人制統一後、全国大会で記録された零封ゲームは別表のとおりである。男子は7人制に改正されて日が浅いため、わずかに室内で2回記録されただけ。11人制時代には全日本総合、全国高校でも数回記録されている。女子は40回近くある。昭和32年の第8回全国高校で7試合も記録されている。また零封しているチームの顔ぶれが片よっているのも零封記録（3試

合）はすべて徳山高（山口）によって作られているし、日体大（東京）が5回、静岡城北高が4回も記録している。春日丘ク（大阪）は第1回全日本総合室内で3試合零封勝ちという快記録をつくっている。この記録はおそらく今後破られることはないだろう。その春日丘クも翌年[illegible]大会では日体大に零封され〝被害者〟になっているのは皮肉だ。

なお一覧表には含まれていないが、女子の零封による最多得点差試合には愛知紡38—0愛知商（昭和39年12月6日・愛知県総合室内選手権準決勝）、男子では、日体大B41—0Jクラブ（別表参照）が地方全国を通じての記録であろう。男子の全国大会における最多点記録は第8回全日本総合室内1回戦で滴水会（東京）が日大から52点を奪っている。

【編集部から】この記事は全国大会を基に書かれています。地方大会などでここにあげられた数字を上回る試合がありましたら、連絡してください。

◇　◇　◇

また記録集として各都道府県総合選手權大会の優勝チーム一覧表をつくってみたいと思います。各都道府県協会の役員の方で戦後の第1回大会から最近までの成績をお持ちの方は、一覧表作製のうえ本誌編集部まで郵送してください。大会回数、開催期日、開催場所、男女別の決戦のスコアをお願いいたします。

## 全国大会における零封試合（11人制を除く）

### 男子の部

【全日本総合室内選手権】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日体大B | 41—0 | Jクラブ（神奈川） | 第2回 | 2回戦 | 昭31. 3.11 | 平塚 |
| 全芝工大 | 37—0 | 高津ク（大阪） | 第4回 | 1回戦 | 昭31.12.26 | 大阪 |

【全日本総合選手権】・【全日本実業団選手権】・【全日本学生選手権】・【全国高校選手権】・【全日本教職員選手権】いずれも零封試合なし

【国民体育大会】
高校,教員,一般とも零封試合なし

### 女子の部

【全日本総合室内選手権】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 都南ク(大阪) | 5—0 | 豊中高(兵庫) | 第1回 | 1回戦 | 昭29.12.26 | 大阪 |
| 春日丘ク(大阪) | 6—0 | 大谷ク(京都) | 第1回 | 1回戦 | 昭29.12.26 | 大阪 |
| 春日丘ク(大阪) | 5—0 | 梅花高(大阪) | 第1回 | 準決勝 | 昭29.12.27 | 大阪 |
| 春日丘ク(大阪) | 6—0 | カリカチュア(大阪) | 第1回 | 決勝 | 昭29.12.28 | 大阪 |
| 日体大(東京) | 6—0 | 春日丘ク(大阪) | 第2回 | 準決勝 | 昭31. 3.12 | 平塚 |
| 日体大(東京) | 6—0 | 金兵庫 | 第3回 | 決勝 | 昭31.12.28 | 大阪 |
| 栃木女高 | 12—0 | 大垣南高(岐阜) | 第9回 | 1回戦 | 昭37.12.20 | 東京 |
| レナウン(東京) | 25—0 | 甲子園学院(兵庫) | 第9回 | 1回戦 | 昭37.12.20 | 東京 |
| 田村紡(三重) | 16—0 | 日女体短大(東京) | 第11回 | 1回戦 | 昭39.12.16 | 東京 |
| 愛知紡(愛知) | 17—0 | 揖斐川電工(岐阜) | 第11回 | 2回戦 | 昭39.12.17 | 東京 |

【全日本総合選手権】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日体大(東京) | 8—0 | 梅花高(大阪) | 第9回 | 1回戦 | 昭32. 7.28 | 富山 |
| 水海道二ク(茨城) | 12—0 | 玉名高(熊本) | 第11回 | 1回戦 | 昭34. 8.13 | 熊本 |
| 日体大(東京) | 2—0 | 清水女高(静岡) | 第11回 | 準決勝 | 昭34. 8.15 | 熊本 |
| 愛知紡(愛知) | 14—0 | 清水女高(静岡) | 第12回 | 準決勝 | 昭35. 8.13 | 湯沢 |
| 愛知紡(愛知) | 15—0 | 三国丘ク(大阪) | 第13回 | 準決勝 | 昭36. 8.16 | 倉敷 |
| 田村紡(三重) | 16—0 | 有磯高(富山) | 第16回 | 2回戦 | 昭39. 8.24 | 高山 |

【国民体育大会一般女子】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 寝尾川ク(大阪) | 5—0 | 涌谷高OG(宮城) | 第14回 | 準決勝 | 昭34.10.29 | 東京 |

【全国高校選手権】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 羽咋高(石川) | 4—0 | 福島女高 | 第8回 | 1回戦 | 昭32. 8. 7 | 松山 |
| 尼崎高(兵庫) | 8—0 | 四日市高(三重) | 第8回 | 1回戦 | 昭32. 8. 7 | 松山 |
| 静岡城北高 | 4—0 | 江南高(神奈川) | 第8回 | 2回戦 | 昭32. 8. 7 | 松山 |
| 熊本市立高 | 4—0 | 有磯高(富山) | 第8回 | 2回戦 | 昭32. 8. 7 | 松山 |
| 静岡城北高 | 12—0 | 京都女高 | 第8回 | 2回戦 | 昭32. 8. 8 | 松山 |
| 静岡城北高 | 6—0 | 青陵高(岡山) | 第8回 | 準々決戦 | 昭32. 8. 9 | 松山 |
| 水海道二高(茨城) | 6—0 | 羽咋高(石川) | 第8回 | 決勝 | 昭32. 8.11 | 松山 |
| 青陵高(岡山) | 5—0 | 足利女高(栃木) | 第9回 | 1回戦 | 昭33. 8. 6 | 函館 |
| 熊本市立高 | 15—0 | 新居浜西高(愛媛) | 第9回 | 1回戦 | 昭33. 8. 6 | 函館 |
| 静岡城北高 | 10—0 | 四日市高(三重) | 第9回 | 2回戦 | 昭33. 8. 7 | 函館 |
| 明善高(福岡) | 13—0 | 若松一高(福島) | 第11回 | 1回戦 | 昭35. 7.31 | 倉敷 |
| 半田高(愛知) | 9—0 | 栃木女高 | 第12回 | 準決勝 | 昭36. 8. 2 | 富山 |
| 菊池農蚕高(熊本) | 17—0 | 添上高(奈良) | 第13回 | 2回戦 | 昭37. 7.31 | 小倉 |
| 水海道二高(茨城) | 15—0 | 中津北高(大分) | 第13回 | 2回戦 | 昭37. 7.31 | 小倉 |
| 半田高(愛知) | 7—0 | 高岡高(高知) | 第13回 | 3回戦 | 昭37. 8. 1 | 小倉 |
| 豊中高(兵庫) | 18—0 | 川崎市高(神奈川) | 第14回 | 1回戦 | 昭38. 8. 4 | 山梨 |

【国民体育大会高校女子】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 徳山高(山口) | 18—0 | 金沢市高 | 第13回 | 1回戦 | 昭33.10.21 | 富山 |
| 徳山高(山口) | 5—0 | 富山女高 | 第13回 | 3位決 | 昭33.10.23 | 富山 |
| 徳山高(山口) | 2—0 | 静岡城北高 | 第14回 | 1回戦 | 昭34.10.26 | 東京 |

【関東学生リーグ女子】

| 勝者 | スコア | 敗者 | 回 | 試合 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日体大 | 23—0 | 東京女体大 | 昭38 | 秋 | 昭38.10.19 | 東京 |

【全日本実業団選手権】
零封試合なし

（昭和39年12月31日現在）

連載第12回

# ハンドボール球史

## ——国民体育大会始まる——

第2次大戦後、ハンドボール界が最初に開いた「全国大会」は国民体育大会である。〃国体〃の名で親しまれるこの大会は敗戦に打ち沈んだ当時の国民の気力を高揚させた。また青少年の思想を善導するには最高の企画であり、日本スポーツ界のクリーン・ヒットであった。この大会に第1回から正式種目としてハンドボールが参加できたことは幸運であった。国体参加がなければ、今日のハンドボール界の飛躍は考えられていなかったであろう。当時の関係者の努力は偉大であった。

協会の意気込みに反して、戦争のため散り散りになった選手の集合は困難を極めた。そのため第3回（昭23）大会までは中学男子（第3回からは高校男子）がメーン・エベントとして続開された。その後大会ごとに開催種目や内容が変わるといった状態だった。昨年の第19回（新潟）大会に一般男女、高校男女、教員合わせて72チーム、一千を越す選手役員参加したことを思い合わせると、この「国体ハンドボール」の歴史はそのまま第2次大戦後の日本のハンドボールの歴史であり、発展の物語りと言ってよいだろう。

今号から国体記録を連載し資料としたい。その前に戦前の「明治神宮体育大会」に触れておこう。

この大会は国体の前身などといわれるが、同大会は神事奉仕的な色彩が濃く、精神力が強調されたものであった。ハンドボールは昭和12年の第9回、昭和14年の第10回、昭和15年の第11回と3回参加していたが、昭和16年（第12回）以後はなぜか大会種目から除外されている。

参加した3大会については本誌第10号26ページ、第11号27ページにくわしく記載されている。当時では優勝者のみを記録するにとどめよう。

**【明治神宮体育大会優勝記録】**

▽第9回（昭12）＝一般男子のみ
大塚送球倶楽部（東京）

▽第10回（昭14）＝選抜紅白試合
全日本選抜白組

▽第11回（昭15）＝三部門
一般男子　日体専（東京）
一般女子　倉敷高女（岡山）
中学男子　青山師範（東京）

**昭和21年に第1回大会**

**【第1回国体・昭和21年12月1日〜3・兵庫県西宮市】**

▼中学男子準決勝（参加4チーム）

豊中（近畿 大阪）16（7－0、9－0）0 沼津（東海 静岡）

倉敷工（中四国 岡山）6（5－0、1－2）2 都重機工（関東 東京）

▽同決勝

豊中 11（4－0、7－0）0 倉敷工

▼一般男子地区対抗（東西対抗）

関西（全関西）10（6－3、4－0）3 関東（全関東）

▼一般女子準決勝（参加4チーム）

豊中高女（近畿 大阪）3（1－1、2－1）2 倉敷ク（中四国 岡山）

日体女子（関東 東京）不戦勝 宮城師範（東北・北海道・宮城）

▽同決勝

豊中高女 3（1－1、2－0）1 日体女子

▼学生東西対抗

西軍（大阪歯専）5（4－1、1－0）1 東軍（早大）

○…4部門とも勝者は関西勢。関西地区の復活は早く、この年1月の東西対抗でも7－2と東軍を圧倒している。勝敗よりも無事な球友の姿を見て喜び合ったのが第1回大会であった。

**【第2回国体・昭和22年10月30日〜11月2日・石川県金沢市】**

▼中学男子1回戦

小豆島（香川）3－2 小松工（石川）

第一神戸工（兵庫）6－3 済々黌（熊本）

▽同準々決勝

小豆島 5－1 鎌倉（神奈川）

天王寺（大阪）11－2 富山（富山）

第一神戸工 2－1 金沢一工（石川）

倉敷工（岡山）3－2 熱田（愛知）

▽同準決勝

天王寺 5－1 小豆島

倉敷工 4－1 第一神戸工

▽同決勝

天王寺 5（3－1、2－2）3 倉敷工

天王寺中は初優勝。大阪代表は2連勝（2回目）。

▼中学女子1回戦

茨木女（大阪）7－1 岡崎女（愛知）

金沢一女（石川）3－0 静岡女（静岡）

明石女（兵庫）7－0 氷見女（富山）

倉敷女（岡山）3－2 東京第一師範予科

▽同準決勝

茨木女 12－0 金沢一女

倉敷女 11－1 明石女

▽同決勝

茨木女 3（2－0、1－0）0 倉敷女

▼一般男子地区対抗（東西対抗）

関西（大阪ク）14（8－4、6－4）8 関東（NOB）

関西は2連勝。大阪クは初優勝。

▼一般女子地区対抗（東西対抗）

近畿（大阪ク）3（1－1、2－1）2 関東（土浦ク）

近畿代表2は連勝。

▼学生男子東西対抗

東軍（早大）10（4－6、4－2、…、1－0、1－0）8 西軍（大阪歯大）

1勝1敗。早大は初優勝。

▼学生女子東西対抗

東（埼玉女師範） 3（2—1 1—0）2 西（全石川選抜）

○…中学では男女とも大阪勢が他を圧した。倉敷もよく食い下がったが、あとひと押しがたらず惜敗。倉敷工は2年連続準優勝にとどまった。他の4部門はエキシビション（模範試合）的色彩が濃かったが、国内を代表するプレーヤーの総出場で、盛り上がりのある好試合が続いた。特に学生東西対抗は〝全日本学生〟、〝全日本学生王座〟がなかった当時としては唯一の「選手権試合」であった。

**【第3回国体・昭和23年10月30日～11月3日・福岡県久留米市】**

▼高校男子1回戦

沼津（静岡） 11—0 加治木（鹿児島）

瑞陵（愛知） 6—0 石橋（栃木）

鎌倉（神奈川） 6—0 富岡（群馬）

福岡西南（福岡） 7—1 山口第二（山口）

明石（兵庫） 3—2 水戸第一（茨城）

▽同2回戦

富山南部（富山） 4—2 松本深志（長野）

済々黌（熊本） 5—2 金沢（石川）

小豆島（香川） 3—2 鎌倉

天王寺（大阪） 8—4 沼津

天城（岡山） 4—3 瑞陵

福岡西南 1—0 那賀（和歌山）

世田谷工（東京） 3—2 明石

鯉城（広島） 記録・対戦校不明

▽同準々決勝

世田谷工 7—1 済々黌

小豆島 10—1 鯉城

天王寺 6—0 富山南部

天城 記録不明 福岡西南

▽同準決勝

天城 4—3 世田谷工

天王寺 8—3 小豆島

▽同決勝

天王寺 2（0—1 2—0）1 天城

天王寺高は2連勝（2回目）。大阪代表は3連勝（3回目）。

▼高校女子1回戦（1試合）

小豆島（香川） 7—2 広島有朋（広島）

▽同2回戦

足利（栃木） 4—2 函館（北海道）

岡崎市立（愛知） 9—2 宮城三女（宮城）

熊本市立（熊本） 1—0 小松（石川）

春日丘（大阪） 6—1 巨摩（山梨）

静岡第二（静岡） 4—0 井草（東京）

甲南（兵庫） 2—1 横浜第一（神奈川）

福岡京都（福岡） 2—1 那賀（和歌山）

倉敷精思（岡山） 3—2 小豆島

▽同準々決勝

岡崎市立 8—0 熊本市立

春日丘 9—0 静岡第二

福岡京都 2—1 甲南

倉敷精思 8—3 足利

▽同準決勝

春日丘 6—0 福岡京都

倉敷精思 6—0 岡崎市立

▽同決勝

春日丘 6（2—2 4—3）5 倉敷精思

春日丘高は初優勝。大阪代表は2連勝（2回目）。

▼一般男子地区対抗1回戦

九州（全九州） 8—3 中国（山口ク）

関東（日体OB） 13—6 東北北海道（仙台教員）

東海（全愛知） 5—4 北陸（北友ク）

近畿（大阪ク） 8—1 四国（香川同好会）

▽同準決勝

九州 6—5 関東

近畿 8—1 東海

▽同決勝

九州 3（2—2 1—0）2 近畿

九州は初優勝。

▼一般女子東西対抗

西軍（大阪ク） 5（1—1 4—0）1 東軍（関東ク）

大阪クは2連勝。

▼学生女子1回戦（参加3チーム）

山梨師範（山梨） 1—0 日体大（東京）

▽同決勝

山梨師範 不戦勝 東京第一師範（東京）

○…中学が高校に改制されたが、いぜん大阪勢が強かった。しかし中回、関東勢の進境もいちじるしく、3年連続して大阪に挑戦した岡山の健闘が光った。一般男子は初めて全回から8チームが参加して、トーナメントで行なわれた。戦後、常勝の座にあった近畿を九州（全九州日体OB）が破ったのは特筆される。

なお学生男子はこの年から〝全日本学生王座〟が設けられたため廃止された。この大会あたりからようやく球界も整備された。次期の第4回（東京）大会では一般男女、高校男女の4部門がトーナメントを組むようになった。今号のまとめとして第3回までの種目別優勝チームを一らん表にしておこう。（第4回以降は次号）

**国民体育大会ハンドボール第1～第3回優勝者**

| | 中学（高校）男 | 中学（高校）女 | 一般男子（地区対抗） | 一般女子 | 学生男子（東西対抗） | 学生女子 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 豊中中 | | 関西（全関西） | 地区対抗 近畿（豊中高女ク） | 西（大阪歯専） | |
| 第2回 | 天王寺中 | 茨木女子中 | 関西（大阪ク） | 地区対抗 近畿（大阪ク） | 東（早大） | 東西対抗 東（埼玉女師） |
| 第3回 | 天王寺高 | 春日丘高 | 九州（全九州） | 東西対抗 西（大阪ク） | | 学校対抗 山梨師範 |

## 日本から若崎氏ら三氏 IHF国際公認の審判員

IHF（国際ハンドボール連盟）の競技委員会（委員長エミール・ホルル氏＝スイス）はこのほど1965年度（昭和40年度）の口際公認審判員117人の名簿を発表した。

それによると日本からは若崎重富（日本協会常務理事）、松本重雄（同）、藤本強（同理事）の三人が公認されている。一カ国で最も多く公認審判員を出しているのはオーストリアの10人で、次いでフランス9人、西ドイツ8人となっている。

# 地方球界の歩み

## 北から……南から……⑧

### 埼玉県(2)

成均高女(大宮高の前身)、埼玉師範女子など創始期に活躍した女子界の伝統は、熊谷女高によってあざやかに受け継がれた。同校はチーム創立早々に出場した第2回東日本高校(昭28・桐生市)でいきなり2位となり、これに自信を得て同年の第4回全国高校(駒沢)に初出場した。3試合を勝ち抜いて準決勝で稲沢(愛知・同大会優勝校)と対戦、敗れたものの4位に入賞する好成績をおさめた。発足間もない協会としては、熊谷女高のこの進出は貴重なものであり、将来への希望と自信とをいだかせるにじゅうぶんであった。翌29年熊谷女高は注目のうちに第5回全国高校で3位、第6回全日本総合では準々決勝で日体大(東京)を破る殊勲を飾り3位となった。

熊谷女高を短時日にここまで育てあげたのは親松治郎氏である。同氏は自校の強化のかたわら他校への普及にもつとめ、その後深谷高など数チームの出現を見た。後続校の中にあって注目されたのは熊谷商工高である。同校の指導は熊谷女高時代全国四位進出の原動力となった石井徳枝氏が担当した。同氏は日体大を経て熊谷商工高に勤務、豊富な経験を生かして指導した。昭和32年には見事に同校を県内一の強チームに仕立てあげ、母校からその王座を奪ったのである。その後の熊谷商工高の活躍は目ざましかった。全国大会でこそ実績は少なかったが、関東高校選手権における栃木女高との対決はトップレベルの熱戦を展開。33年以後は3年間連続して両者によって同大会の決勝が争われ、熊谷商工高は第5回(昭34)大会で宿願を遂げ、関東一の座についたのである。親松—石井師弟ラインによって、県球界には前後して二つの強豪女子チームが生れたといってよいだ[illegible]熊谷商工を頂点とした活動が続けられる一方、加盟チームも増加した。新進の台頭も目だつようになり、昨年は常勝校に代わって深谷女高が全国高校大会出場権を獲得している。果たして熊谷女高時代、熊谷商工高時代に続いて深谷女高時代の幕開けとなるのか、あるいは群雄入りまじっての発展となるか楽しみなものがある。

女子界のはなやかな発展に比べ、男子は発足後数年間、加盟校が大宮高だけという低迷が続いた。県内に相手がいない大宮高は、ハンドボール部の活動を存続させるのにたいへん骨を折ったという話も伝わっている。しかし30年以後都北高、春日部高、浦和市立高などが誕生した。大宮高を目標に強化をはかった結果、浦和市立高が37年に〝打倒大宮〟を果たし、余勢を駆って第8回関東高校選手権に優勝するという目ざましい成長を示した。この年以後、男子の王座は完全に大宮高から浦和市立高に移った。浦和市立高は遠藤健次氏が指導した。若手指導者陣の最右翼として将来を嘱望されているだけに、今後の活動は注目される。

こうして埼玉球界は高校女子を主柱にして発展、浦和市立高の台頭で高校男子のレベルも急速に向上した。だが一般球界の情勢はかんばしくない。わずかに第14回国体(昭34)の一般女子で、全埼玉が3位入賞を遂げたのが光るだけ。あとは朝霞自衛隊体育学校チームの存在が話題として目にとまるだけであった。そうしたところへ国内最強という豪華な陣容をひっさげた大崎電気(男女)が東京から移籍した。昭和42年に国体をひかえる埼玉にとってまさに朗報であろう。終始、県球界の発展につくされている井田万三郎理事長以下関根潔、遠藤健二、石井富三ら協会スタッフの情熱は、一躍国内のトップ・ゾーンとなった。これからは以前にも増して実力を十二分に発揮することだろう。埼玉球界の今後の動向は見のがすことはできない。(了)

▽おわび　本誌19号当欄〝静岡県〟の項に「望井氏」とあるのは「望月正氏」。また20号〝埼玉県〟の項に「井田誠三郎」とあるのは「井田万三郎氏」の誤りにつき訂正します。

# アンケート（上）

## 全タイトルの独占（中大）

### 早、慶は一部復帰

いよいよハンドボールシーズン。そこで大学、高校、実業団に（1）ことしの目標（2）どこを強化するか のアンケートを出した。本号は大学、次号は高校、実業団を掲載する。

▽芝浦工大
（1）第一に学生王座、全日本学生選手権、関東学生リーグに優勝すること。第二に全日本総合選手権に優勝すること。
（2）攻撃、防御とも昨年より一歩前進すること。

GK 渡辺（勝） 4年
山村 2年
FP 吉金 4年
青山 4年
安藤 4年
千ケ崎 4年
近藤 3年
岩崎 3年
渡辺（正） 3年
関根 3年
近森 2年
山田 2年
竹内 2年

▽立大
（1）関東学生リーグ優勝。
（2）ディフェンス。

GK 尾形 3年
北田 2年
FP 伊東 4年
藤城 3年
林 3年
木野 2年
北村 2年
東 1年
野田 1年
谷川 4年
山口 2年
柳原 3年
石川 4年

▽教大
（1）関東学生リーグ優勝。
（2）ディフェンスの強化。

GK 風間 3年
FP 松田 4年
北井 4年
古沢 4年
植田 4年
大西 2年
新堂 2年
高田 3年
松井 3年
衣斐 4年
小山 2年
川島 2年

▽日体大
（1）全タイトルを握ること。
（2）走力、跳力、投力。

GK 坂下 4年
山本 4年
FP 渡辺 4年
山崎 4年
小林（健） 4年
三枝 4年
小林（重） 4年
古屋 4年
大洞 4年
中釜 4年
中山 4年
奥浜 4年
菊池 4年

▽明大
（1）学生NO1.になること。
（2）守備の面に力を入れる。

GK 岩瀬 3年
小川 1年
FP 山本 4年
福本 4年
小野 4年
望月 4年
松田 4年
池田 4年
堀 3年
光本 3年
山田 3年
小林 2年
毛利 1年

▽中大
（1）全タイトル独占。
（2）速攻できるチームにする

GK 上原 3年
竹下 2年
FP 清元 4年
小崎 4年
田尻 4年
浜口 4年
中村 4年
熊本 3年
百武 3年
加藤 3年
渡辺 3年
柿崎 3年
中沢 3年

▽茨城大
（1）関東学生リーグで大あばれしたい。
（2）防御力の強化。

GK 成瀬 4年
菅原 2年
FP 高栖 4年
小菅 4年
中沢 4年
小松 3年
塚原 3年
嶋田 3年
清水 3年
高岡 3年
沼田 3年
橋本 2年
平塚 2年

▽早大
（1）春のリーグで一部復帰。
（2）まず一部へ復帰。

GK 尾形 3年
綿貫 1年
FP 三沢 4年
森永 3年
石田 3年
水口 2年
小島 2年
伊藤 2年
朝日 2年
中村 2年
亀山 2年
管野 2年
旗野 2年

▽慶大
（1）関東学生リーグで一部復帰。
（2）ディフェンス、速攻力。

GK 松本 4年
北崎 2年
FP 小林 4年
花野 3年
安達 3年
石橋 3年
米田 3年
小椋 2年
前田 4年

▽同志社大
（1）学生界の全タイトル獲得
（2）攻撃面はスピード、シュート力。守備面はアタック。フェイントにたいするシュート、カットなど

GK 林谷 3年
梅野 2年
FP 斎藤 4年
川井 4年
磯部 4年
林 3年
江村 3年
飯田 2年
佐藤 2年
稲葉 2年
守本 2年
藁品 2年
松浦 1年

▽関学
（1）全国制覇
（2）選手全体の精神面の充実

GK 石田 4年
志方 4年
FP 飯端 3年
宮本 4年
石井 4年
籔田 4年
高須 3年
吉田 3年
矢本 3年
永井 2年
佐藤 2年
森口 2年

▽関大
（1）打倒芝浦工大
（2）ディフェンス

GK 平松 2年
西口 1年
FP 平岩 4年
広岡 3年
窪崎 3年
多賀谷 2年
加古 2年
竹居 2年
成田 2年
小川 2年
松岡 2年
滝 1年
宮永 1年

▽大阪経大
（1）関西学生リーグ3位入賞
（2）一、二年生が175センチ以上なので、バックスを強化する。フォーメーションを組んで、ロング、サイドからのシュート。

GK 大口 2年
藤本 1年
FP 上野 4年
竹村 3年
矢部 3年
中村 3年
山下 2年
比嘉 3年
水谷 3年
磯田 3年
民里 3年
山路 2年
浅野 2年

▽大阪大
（1）なし
（2）なし

GK 山口 2年
河辺 1年
FP 福田 4年
小泉 4年
大西 3年
川村 3年
楠本 3年
保田 3年
金子 2年
坂本 2年
引田 2年
向井 2年
佐藤 1年

▽甲南大
（1）関西学生リーグ上位進出
（2）機動力。

GK 三宅 3年
FP 高田 4年
福田 3年
松井 3年
加藤 3年
灰藤 3年
久光 2年
平戸 2年
川淵 2年
酒井 2年
置田 2年

# 東京都協会告知板

◎常任理事会議事録

▽とき　昭和40年3月24日

▽ところ　大崎電気工業株式会社

▽出席者　渡辺、外山、吉田、鷲尾、岡村、安藤純、中沢近藤（山岡憲氏の代理）

▽欠席者　松田、鈴木、山岡二渡野、宮田

▽委　任　渡辺、古賀、安藤重

1. 役員辞任の件

常任理事安藤重明君が家のつごうで辞任したいむね申し入れがあり、これを承認した。

2. 日独対抗の件

日本協会から「西ドイツ海軍のドイッチェランド号が3月24日東京、晴海に入港した。ドイッチェランド号の乗り組み員が日本チームと試合したいむね申し入れがあった。東京都協会で開催してほしい」と連絡があった。当初の予定は3月26日午後2時30分から駒沢体育館で開くことになっていたが、つごうで中止となっていたもの。協議の結果、この申し入れを受けることにし、3月27日午後2時30分から駒沢室内球技場で開くことを正式に決めた。

チームは日本選抜チームとし、大崎電気チームを主力とする。審判員は第一候補に佐野和夫君、第二候補に安藤純光君を決めた。ゴールジャッジは大崎電気から出す。予算は会場費、バス代、おみやげなどを含めて3万円前後。

3. 中国遠征の件

日中スポーツ交流による日本チームの中国遠征は4月15日羽田出発と決まった。当協会から常任理事の岡村昭二君が監督として参加する。

4. 東京都協会規約の件

規約案について検討した結果、一部修正し満場一致で可決した。4月1日から施行する。

5. その他

吉田副理事長から3月8日岸体育館で開かれた関東ハンドボール連盟代表者会議について報告があった。

（A）昭和40年度の各都県の分担金は2千円。

（B）第20回国体関東予選は9月2日―9月4日まで千葉市で開く。県別の組み合わせは7月20日。チームのしめ切りは8月22日。

（C）全[illegible]合選手権大会関東予選は7月[illegible]ころ東京都で開催してほしいとの要望があった。

（D）日本協会のブロック推薦理事として、関東協会から入江暢一（茨城）、井田万三郎（埼玉）の両氏を推薦した。

（E）関東協会の新会長に千葉県協会長が就任。

◎常任理事会議事録

▽とき　4月19日（月）

▽ところ　大崎電気工業

▽出席者　渡辺、黒川（鈴木副会長代理）近藤（山岡副会長代理）外山、松田、安藤純、中沢、鷲尾

▽委　任　古賀、岡村

▽欠席者　山岡二、吉田、佐野、宮田

（1）新規約を正式に承認

（2）役員改選は次回までに持ち越したが、日本協会の常務理事に就任した吉田正次郎、山岡二郎、岡村昭二の三氏は日本協会の業務が多くなるため、役員のわくからはずすことを決めた。

（3）東京都―神奈川県対抗戦は近く外山（東京）、若崎（神奈川）両理事長が近く話し合うことにした。

（4）第18回都民体育大会ハンドボール競技は5月3、5、8、9日の4日間、駒沢第二球技場で行なわれる。競技種目は一般男子一般女子の二種目．参加チームは次のとおり。

▽一般男子＝大崎電気（品川区）千代田印刷機製造（千代田区）安田生命（新宿区）若木ク（渋谷区）中野一中OB（中野区）台東ク（台東区）洗足ク（大田区）杉並ク（杉並区）

▽女子＝大崎電気（品川区）東京重機（調布市）レナウン工業（昭島市）

競技方法は一般男子は8チームを4チーずつの2ブロックに分けて予選リーグを行ない、各ブロックの同順位チームで順位決定戦を行なう。一般女子は3チームのリーグ戦。

（5）39年度決算、40年度予算を承認。

（6）40年度の日程表を早急に作製する。

### 都民大会日程

▽5月3日（男子）A組＝若木ク―大崎電気、中野一中OB―台東ク、B組＝洗足ク―安田生命、中瀬ク―千代田印刷機（女子）東京重機―大崎電気。

▽5月5日（男子）A組＝若木ク―中野一中OB、大崎電気―台東ク　B組＝洗足ク―中瀬ク、安田生命―千代田印刷機、（女子）レナウン工業―東京重機

▽5月8日（男子）A組＝若木クラブ―台東ク、大崎電気―中野一中OB、B組＝洗足ク―千代田印刷機、安田生命―中瀬ク、（女子）なし

▽5月9日（男子）順位決定戦（7―8位、5―6位、3―4位）（1―2位）（女子）大崎電気―レナウン工業

### 登録について

昭和40年度の登録用紙は4月20日までに加盟全チームに発送した一チームについて3部発送し、5月20日までに東京都協会に規定の登録料その他をそえて郵送してください。日本協会には5月31日までに届けます。東京都協会へのしめ切りは5月20日です。これをすぎるといかなる理由があっても受けつけません。

### 機関誌について

ことしから機関誌「ハンドボール」の購読料が変わりました。昨年までは年4回発行でしたが、ことしから月刊（12回）となり、1年間購読者については1部100円、年間1,200円となりました。郵送料は日本協会負担です。登録チームには毎号1部配布されます。個人購読希望者は直接日本協会へ申し込んでください。

### 新設チームについて

ことし新しいチーム名で登録するチームは、登録用紙の注意事項をよく読んでください。昨年登録していた選手は登録用紙の（1）、（2）、（3）に記入のこと。3人まで認められています。

# 地方だより

## 39年12月

### 下関優勝

◇山口県一般男子選手権大会（39年12月20日、山口県立体育館）

「準決勝」
下関ク 21—11 山口大
県教員団 18—18 徳山ク
（抽選勝ち）

「決勝」
下関ク 19—13 県教員団

### 寒高OB優勝

◇山形県室内選手権大会（39年12月26、27、山形県営体育館）

「男子1回戦」
大石田高 16—14 山形大
東根工高 22—14 寒河江高
寒河江高OB 20—11 大石田高OB

「同準決勝」
寒河江高OB 10—5 東根高
東根工高OB 17—10 大石田高

「同決勝」
寒河江高OB 17—12 東根工高OB

## 40年1月

◇岐阜県総合室内選手権大会（1月17日、大垣スポーツセンター）

「男子準、
常盤工業 18—11 USN
GTC 25—6 大垣農高

「男子決勝」
常盤工業 18—8 GTC

「女子決勝」
揖斐川電気 7—7 加納高

### 学芸大付中勝つ

◇第16回奈良県選手権大会（1月15日、育英高校）

「一般男子決勝」
育英OB 20—13 添上OB

「高校男子決勝」
添上高 22—11 奈良高

「高校女子決勝」
生駒高 8—3 添上高

「中学男子決勝」
学大付中 16—7 生駒中

### 新居浜東（女）敗れる

◇愛媛県高校新人戦（1月31日 今治西高）

「男子準決勝」
新居浜工 19—5 今治西
松山工 8—5 松山商

「男子決勝」
新居浜工 13—3 松山工

「女子1回戦」
新居浜東 14—0 新居浜商
新居浜西 11—2 今治西

「同決勝」
新居浜西 9—6 新居浜東

### 鶴工クラブ勝

◇第4回大分県室内選手権大会（1月16、17、県営体育館）

「高校男子3位決定戦」
大分商B 15—12 大分東

「同決勝」
大分商A 51—6 鶴工

「女子リーグ」
大分東 10—2 大分商
大分東 10—5 臼杵
臼杵 9—8 大分商

「一般男子1回戦」
鶴工ク 18—8 国東ク
大分ク 9—8 自衛隊

「同3位決定戦」
国東ク 22—15 自衛隊

「同決勝」
鶴工ク 20—15 大分ク

### 井原（女）優勝

◇第16回岡山県高校新人大会（1月23、24日、岡山県営体育館）

「男子1回戦」
邑久牛窓 10—9 矢掛
倉敷商 18—5 津山商
玉野 16—14 勝間田農
岡山工 14—11 天城
操山 28—8 邑久尾張
関西 17—16 津山
倉敷工 13—6 林野
津山工 9—7 青陵

「同準々決勝」
倉敷商 12—9 邑久牛窓
玉野 16—13 岡山工
操山 17—13 関西
倉敷工 16—7 津山工

「同準決勝」
玉野 11—9 倉敷商
操山 13—12 倉敷工

「同決勝」
操山 19（5—6、7—6、0—1、2—1、2—0、3—5）19 玉野
＝引き分け＝

「女子1回戦」
西大寺 13—3 津山商
青陵 16—4 津山
落合 16—3 金川

「同準決勝」
井原 14—5 西大寺
落合 12—11 青陵

「同決勝」
井原 10—4 落合

### 山陽女子優勝

◇広島県高校新人大会（1月30、31日、広島県立体育館）

「男子1回戦」
広島 18—15 呉商
宮原 31—9 白木

「同準々決勝」
尾道 16—7 三津田
松本商 21—7 山陽
広島 17—13 盈進商
修道 21—10 宮原

「同準決勝」
尾道 10—9 広島
修道 13—8 松本商

「同決勝」
修道 9—7 尾道

「女子1回戦」

山陽女子 22―2 豊栄
進　徳 15―8 白木

「同準決勝」
山陽女子 34―1 賀茂
進　徳 9―6 三津田

「同決勝」
山陽女子 14―2 進徳

## 鎌倉学園高勝つ

◇神奈川県室内選手権大会（1月31日、横浜文化体育館）

「高校男子準決勝」
鎌倉学園 20―10 法政二
南　高 12―10 関東学院

「同決勝」
鎌倉学園 18―7 南高

「一般女子高校決勝」
江南高 7―2 川崎高ク

「一般男子準決勝」
鎌倉ク 15―13 日本鋼管
商工ク 22―21 法政ク

「同決勝」
鎌倉ク 24―14 商工ク

**40年2月**

## 氷見ク、4連勝飾る

◇第4回富山県室内選手権（2月6、7日、富山市体育館）

「一般男子準決勝」
氷見ク 27―17 富山大
日野自動車 不戦勝 呉羽自動車

「同決勝」
氷見ク 49（25―5 24―5）10 日野自動車

氷見クは4年連続優勝

「高校男子決勝」
氷　見 21（12―3 9―8）11 小杉

氷見高は2年ぶり2回目

「高校女子決勝」
富山女子 5（4―2 1―2）4 富山北

富山女高は3年ぶり2回目。なお、一般女子は富山女高OGクが不戦優勝

## 和歌山商優勝

◇和歌山県高校新人戦（2月13、14日、新宮高校）

「男子」
和歌山商 20―3 御坊商工
新　宮 14―10 那賀
和歌山商 14―9 那賀
新　宮 20―2 御坊商工
和歌山商 9―6 新宮
那　賀 23―10 御坊商工

（順位）1.和歌山商3勝、2.新宮2勝1敗 3.那賀1勝2敗・4.御坊商工3敗

## 三菱重工が連勝

◇昭和40年春季愛知県実業団リーグ（2月18日～25日・名古屋市金山体育館）

中部電力 27―11 ブラザー工業
東海製鉄 17―13 タヨシ産業
大同製鋼 22―20 日本碍子
日本碍子 14―7 タヨシ産業
三菱重工 [illegible]―16 ブラザー工業
東海製鉄 [illegible] 中部電力
大同製鋼 26―17 東海製鉄
三菱重工 28―19 中部電力
タヨシ産業 28―16 ブラザー工業
日本碍子 27―12 ブラザー工業
大同製鋼 32―20 中部電力
三菱重工 26―10 タヨシ産業
大同製鋼 42―13 ブラザー工業
三菱重工 31―20 東海製鉄
日本碍子 17（分）17 中部電力
三菱重工 20―12 日本碍子
タヨシ産業 16（分）16 大同製鋼
東海製鉄 20―12 ブラザー工業
タヨシ産業 19―13 中部電力
日本碍子 16―15 東海製鉄
三菱重工 19―11 大同製鋼

【順位】①三菱重工6戦全勝（昨秋につづき2連勝・2回目）②大同製鋼③日本碍子④東海製鉄⑤タヨシ産業⑥中部電力⑦ブラザー工業

## 宇都宮工が優勝

◇第4回栃木県高校新人戦（2月27、28日、足利高校）

「男子1回戦」
国学院栃木 14―12 石橋
宇都宮工 12―10 足利工

「同準決勝」
足　利 17―12 国学院栃木
宇都宮工 18―10 烏山

「同決勝」
宇都宮工 19―12 足利

「女子リーグ」
足利女 7―5 国学院栃木
栃木女 16―5 足利女
栃木女 12―4 国学院栃木

## 桜丘会、田村紡が初優勝

◇第4回東海室内選手権（2月28日・三重県体育館）

「男子1回戦」
桜丘会（愛知） 12（6―5 6―7）12 清商ク（静岡）

規定により引き分け。抽選で桜丘会の勝ち

本田技研（三重） 16（7―6 9―6）12 常盤工業（岐阜）

「同決勝」
桜丘会 20（8―8 12―7）15 本田技研

「女子1回戦」
田村紡（三重） 14（5―1 9―1）2 静岡城北高
愛知紡（愛知） 12（6―2 6―1）3 揖斐川電工（岐阜）

「同決勝」
田村紡 8（3―2 5―1）3 愛知紡

## 編集後記

○…ことしから月刊となった。編集子はなかなかいそがしい。自分の仕事のスキを見て原稿を書き、そして編集する。日本協会の常務理事の人たちの手を貸りたいくらいだ。どなたか手伝ってくれる人はおりませんか。幸いなことに理事の藤本君が「海外ジャーナル」を4ページ分引き受けてくれたので大助り。名古屋の杉山君(慶大OB、NHK勤務)が大車輪で原稿を書いてくれるし、最大の協力者である部外者の佐内君もいるので、なんとか息をつないでいるわけ。その月の号を二十日に発行するようにしています。

○…本号は杉山君の〝新シーズンの展望〟を掲載した。次号は高校男女と、日本協会が集めた各チームの新陣容（アンケート）を掲載の予定です。よろしく。

○…本号（21号）が発行されるころは、中国遠征チームが中国各地で親善試合をやり、三ゲームぐらい終わっていましょう。中国遠征の成績は5月の22号に収録します。河東田記者の健筆を待っているわけ。ご期待ください。（ふぐ）

日本ハンドボール協会編
ハンドボール
第二十一号
昭和四十年四月二十日印刷 発行所 東京都渋谷区神南町二ー一
昭和四十年四月二十五日発行 日本ハンドボール協会 電話代々木(67)三一一一 振替東京五八三四八番
編集兼発行人 高嶋冽
定価百三十円 (〒)二十円